

CHleru

CaLabo LX v6.0 簡易マニュアル

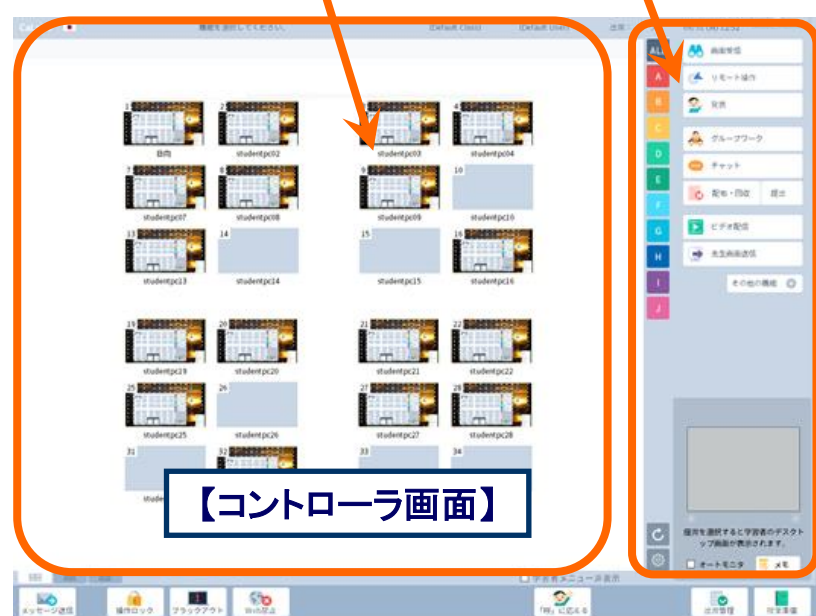
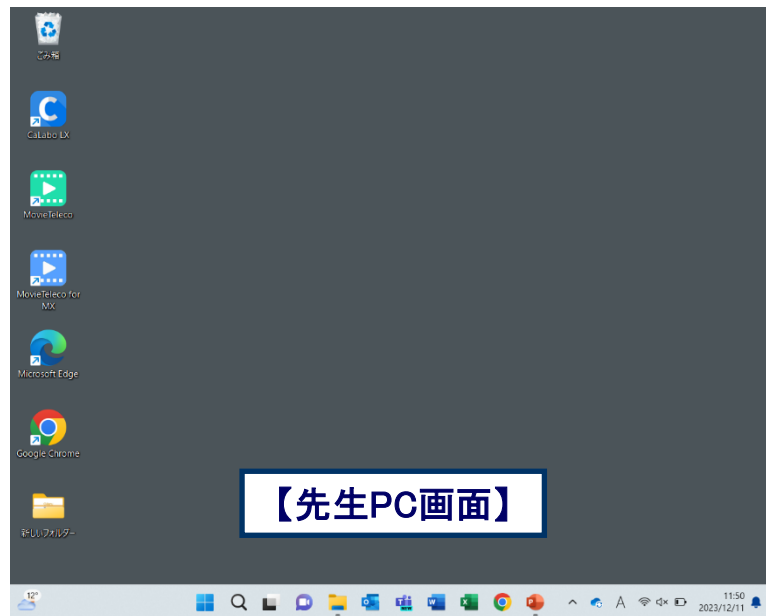
チエル 株式会社

2023年12月

目次

| | | | |
|------------------------|----|-----------------------|----|
| 操作画面 | 3 | 学習者の画面を確認する | 26 |
| 起動と終了 | 4 | 1人ずつ順番に画面を確認する | 27 |
| 機能ボタンの配置 | 5 | 複数の学習者の画面を一度に確認する | 28 |
| 操作手順の基本 | 6 | 学習者の画面を操作して指導する | 29 |
| アイコン表示とリスト表示 | 7 | 1人に発表させる | 30 |
| 右クリックによる操作 | 8 | 学習者をランダムに指名する | 31 |
| 学習者PCの電源管理 | 9 | チャット | 32 |
| 授業変更 | 10 | アナライザー概要 | 33 |
| 座席アイコンへ学習者名を表示 | 11 | - アナライザーを起動する | 34 |
| 出席結果の出力 | 12 | - アナライザーの問題種類と設定 | 35 |
| 出席結果の集計 | 13 | - アナライザーを実行する | 36 |
| メッセージ送信 | 14 | 評価シート概要 | 37 |
| 学習者の操作をロックする | 15 | - 評価シートフォームを作成・保存する | 38 |
| Web閲覧を禁止する | 16 | - 評価シートで評価を実行する | 39 |
| 学習者のアプリケーションを起動する | 17 | - 評価シートの結果ファイル | 40 |
| 指定のWebサイトを一齐に表示する | 18 | 小テスト概要 | 41 |
| 課題(Wordなど)を配布する | 19 | - 小テスト作成ツール起動・作成 | 42 |
| 課題(Wordなど)を回収する | 20 | - CSVファイルから小テストをインポート | 43 |
| 課題(Wordなど)を提出させる | 21 | - 小テストを開始する | 44 |
| 先生の画面を見せる | 22 | - 小テストの結果表示 | 45 |
| 先生の画面を見せる(補助機能) | 23 | 学習者からの質問／呼び出しに応える | 46 |
| 学習者の画面でビデオを見せる | 24 | その他の機能 | 47 |
| 先生画面の操作を録画する(デスクトップ録画) | 25 | 学習者メニュー | 48 |

操作画面

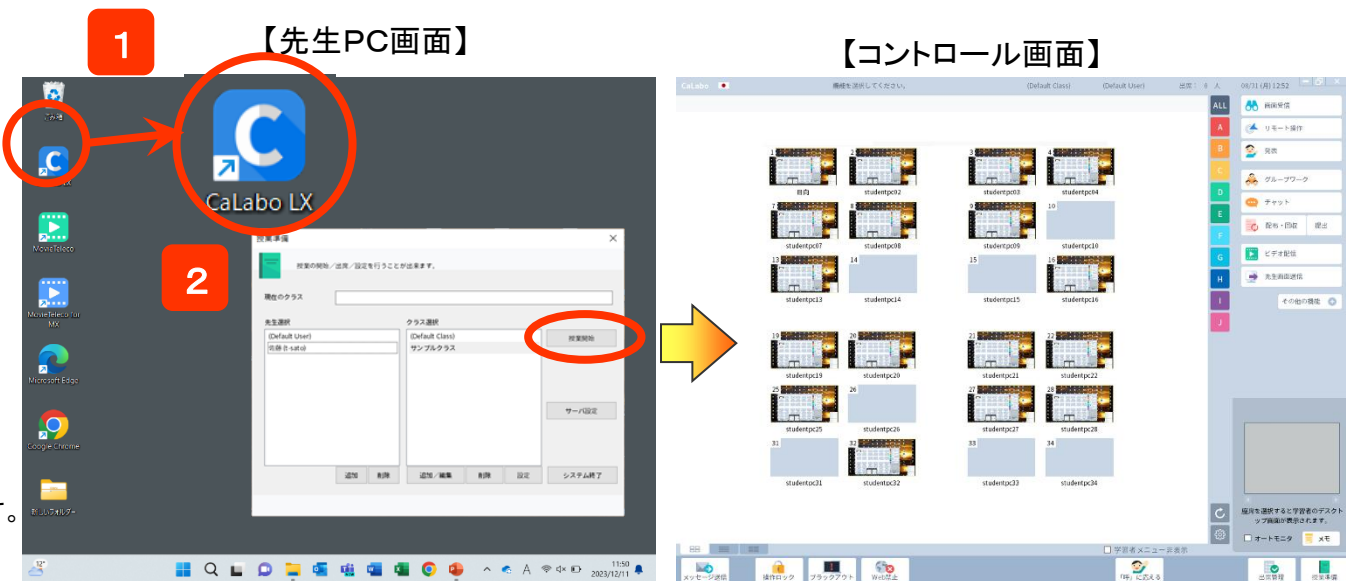


- ・画面は「デュアルモニタ」です。右が学習者PCを制御するための「コントローラ画面」、左が先生作業用の「先生PC画面」です。マウスを左右に移動させると、2つの画面を操作できます。
- ・コントローラ画面には、左側に教室のレイアウトに合わせた座席アイコン、右側に機能ボタンが並んだ操作パネルが表示されています。授業中は主にコントローラ画面を操作します。
- ・機能ボタンをクリックする前に **座席アイコン**を選択しないと「全員が対象」となります。

起動と終了

起動

1. デスクトップ上の「CaLabo LX」アイコンをダブルクリック
⇒ 授業準備ダイアログが表示されます。
2. 表示された「授業準備」の先生・クラスを選択し[授業開始]ボタンをクリック
※先生・クラスの設定がない場合は、そのまま[授業開始]ボタンをクリック
⇒ CaLabo LX コントローラが表示されます。



終了

1. コントロール画面の[×]ボタンをクリック
2. ダイアログで[OK]ボタンをクリック
⇒ コントロール画面が終了し通常のWindows画面に戻ります



機能ボタンの配置

言語切り替え

サブメニュー

クラスエリア

The screenshot shows a classroom management interface with the following elements:

- Language Switcher:** A red dashed box highlights the language selection icon in the top left.
- Classroom Area:** A grid of 34 student thumbnails, numbered 1 to 34. Some thumbnails show a desktop view, while others are blank.
- Function Buttons:** A vertical sidebar on the right contains buttons labeled A through J. A red dashed box highlights the buttons for '画面受信' (A), 'リモート操作' (B), '発表' (C), 'グループワーク' (D), 'チャット' (E), '配布・回収' (F), '提出' (F), 'ビデオ配信' (G), and '先生画面送信' (H).
- Bottom Control Bar:** A red dashed box highlights a row of buttons: 'メッセージ送信', '操作ロック', 'ブラックアウト', 'Web禁止', '「呼」に応える', '出席管理', and '授業準備'.
- Right Panel:** A red dashed box highlights the '画面受信' (A) button, the '発表' (C) button, and the 'ビデオ配信' (G) button.

指導

学習者間の活動

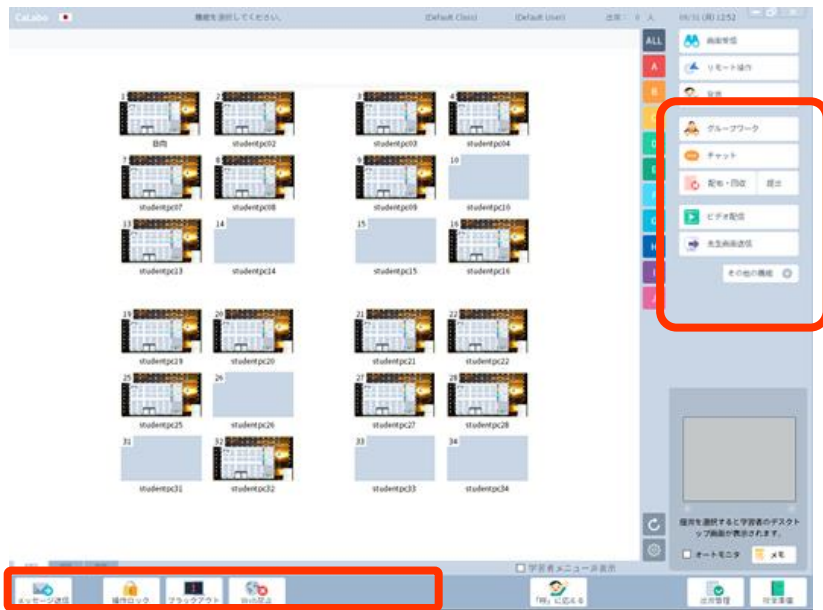
教材提示

管理

メッセージ

禁止

操作手順の基本



参加者全員を対象とする

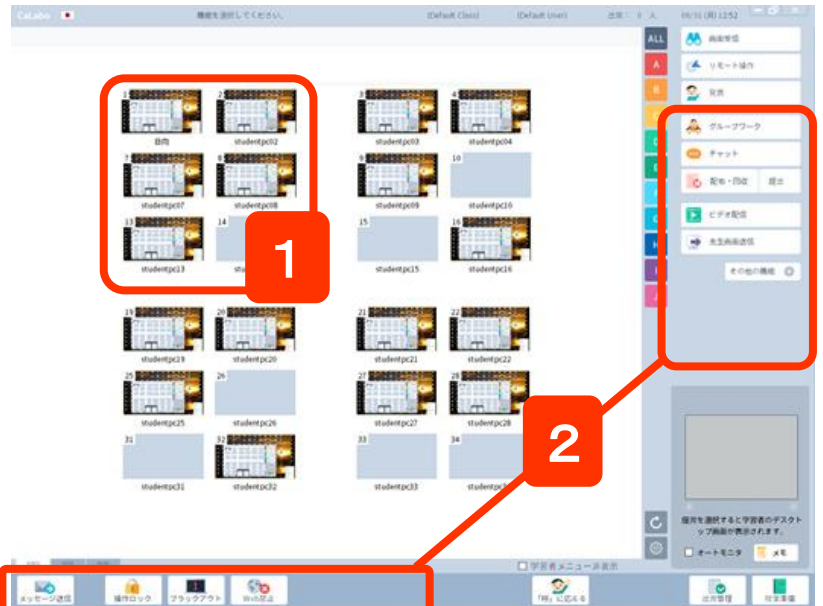
(座席アイコンを選択せずに) 機能ボタンをクリック

- ⇒ 参加者全員を対象として機能を実行します。(対象者が1人の機能を除く)

参加者の一部を対象とする

1. 対象となる座席アイコンを選択
2. 機能ボタンをクリック

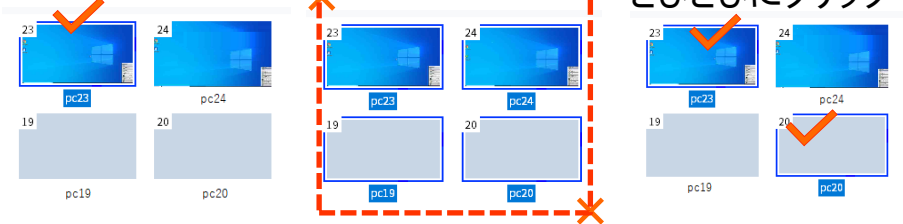
⇒ 選択した学習者を対象として機能を実行します。



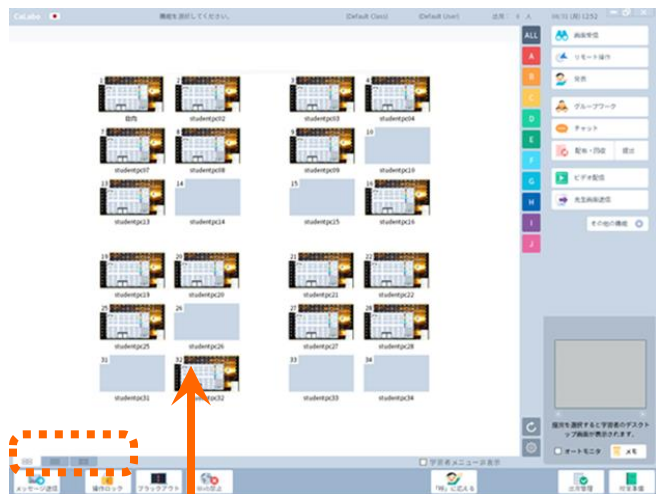
座席アイコンの選択

選択方法はWindowsと同じです。選択状態の座席アイコンには青い枠が付きます。

座席の上でクリック ドラッグして囲む [Ctrl]キーを押しながらとびとびにクリック



アイコン表示とリスト表示



コントロール画面を起動すると、座席アイコンが表示され、学習者PCの画面が表示されます。(=アイコン表示)

この表示は「座席ビュー切り替えタブ」で「リスト表示」「サムネイル表示」に切り替えることができます。

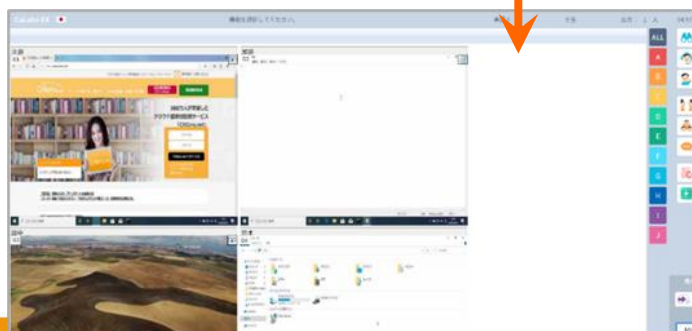
アイコン表示

座席レイアウトどおりにアイコンが並び、1つ1つの座席アイコンには学習者PC画面が表示されます。

| 学習者名 | ホスト名 | 状態 | アクティブアプリ | 起動アプリ |
|-------|--------------|----|------------------------|-------|
| 田中 | [001] : pc01 | 🔒 | 📄 タラドミラーニング教 | 📄 |
| 加藤 | [002] : pc02 | 🔒 | 📄 勉強 - メモ帳 | 📄 |
| (未出席) | [003] : pc03 | 🔒 | 📄 Windows Media Player | 📄 |
| 田中 | [004] : pc04 | 🔒 | | |
| 鈴木 | [005] : pc05 | 🔒 | | |

リスト表示

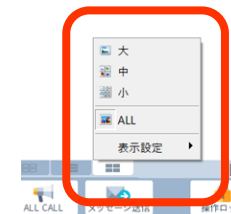
学習者が起動しているアプリケーションを一覧で確認できます。



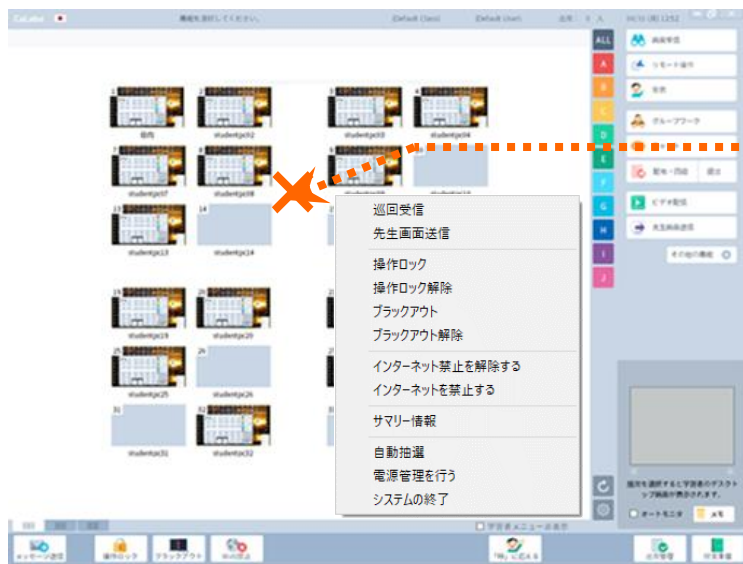
サムネイル表示

出席者全員のPC画面が一覧で表示されます。画面の並びは座席番号順になります。

サムネイル表示タブを再度クリックすると、メニューで画面の大きさを切り替えられます。

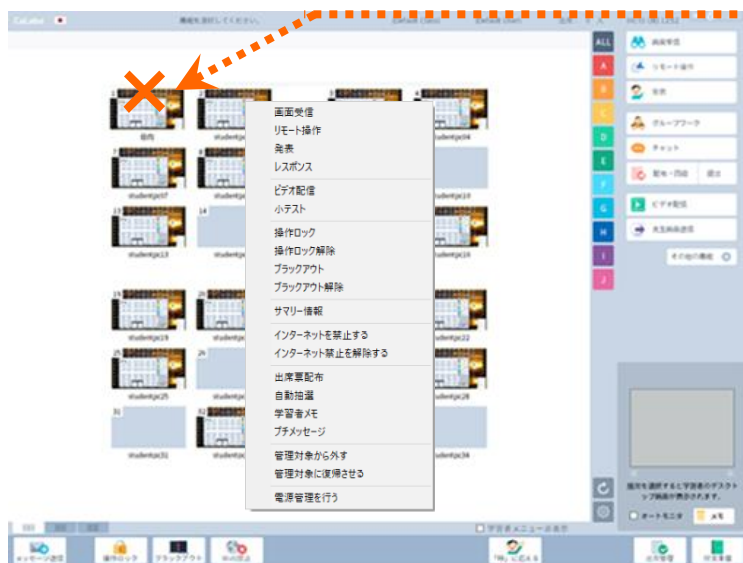


右クリックによる操作



● 床(座席アイコンのないところ)を右クリック

クラスの出席者全員に対して
実行できるメニューが表示されます。



● 座席アイコン上で右クリック

選択中の座席に対して
実行できるメニューが表示されます。

学習者PCの電源管理

CaLabo LX コントローラから 学習者PCの電源を一斉にONすることができます。
他に、「一斉電源OFF」「再起動」「一斉ログオン/ログオフ」もできます。

授業準備

授業の開始/出欠/設定を行うことができます。

現在のクラス サンプルクラス

先生選択 クラス選択

(Default User) (Default Class)

権限 (i-sat) サンプルクラス

クラシック権限 (d)

授業変更

電源管理

電源管理

電源ON

電源OFF

再起動

リモートログオフ

リモートログオン

電源管理

対象クライアントの電源管理を行います。

直接入力 ファイル選択

ユーザ名

パスワード

ドメイン

リモートログオン

1. [授業準備]ボタンをクリック
⇒ 授業準備ダイアログが表示されます。
2. [電源管理]ボタンをクリック
⇒ 電源管理ダイアログが表示されます。
3. [電源ON]ボタンをクリックします。

※ 一部のPCを対象とする場合は、手順1.の前に、対象となる座席アイコンを選択しておきます。

※ 同様の手順で、[電源OFF][再起動][ログオフ]ができます。

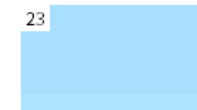
座席アイコンの表示

(グレー)



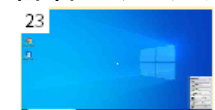
電源OFF状態

(水色)



ログオン前の状態

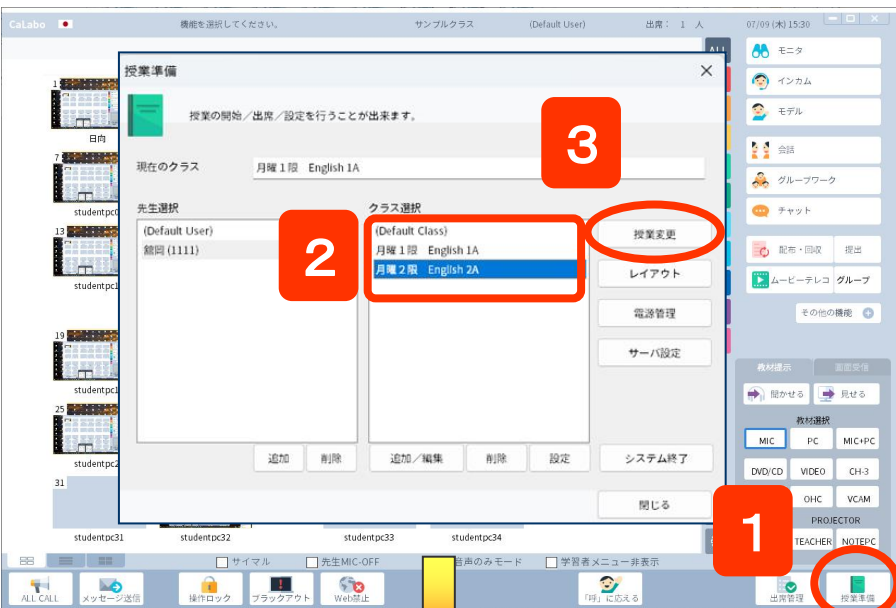
(学習者のデスクトップ)



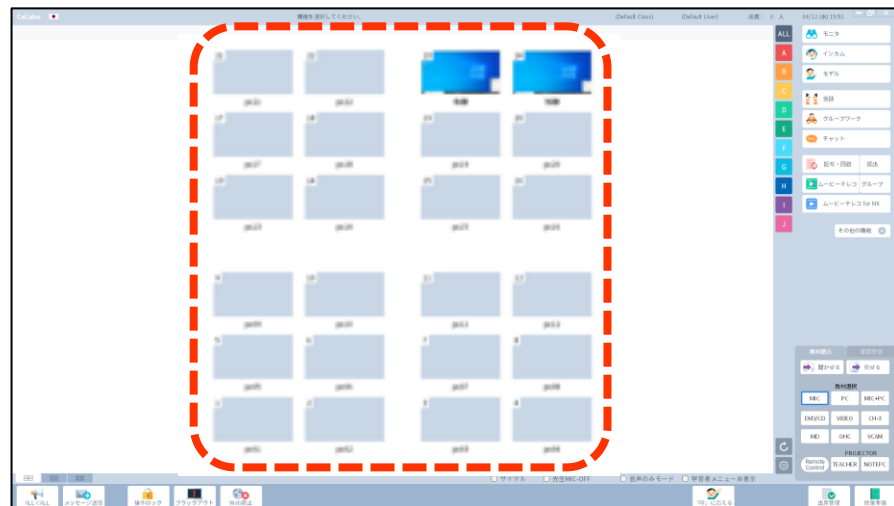
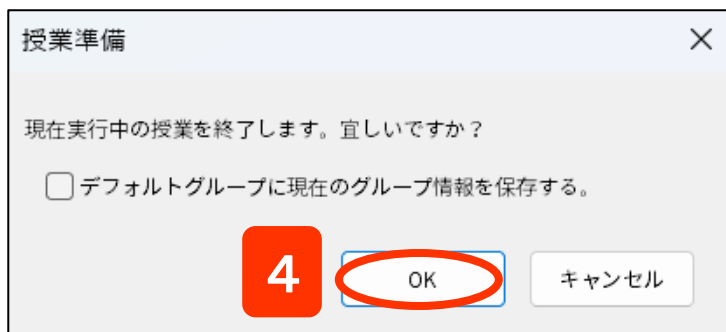
ログオン後の状態

授業変更

同じクラスを使って連続した授業をする場合、次の授業に参加した別の学習者も「受信したファイル」から前の授業で配布した資料を取得できてしまうなど、前の授業の履歴が残ってしまいます。そのため、連続した授業で別の学習者がいる場合は、必ず授業の変更を行ってください。

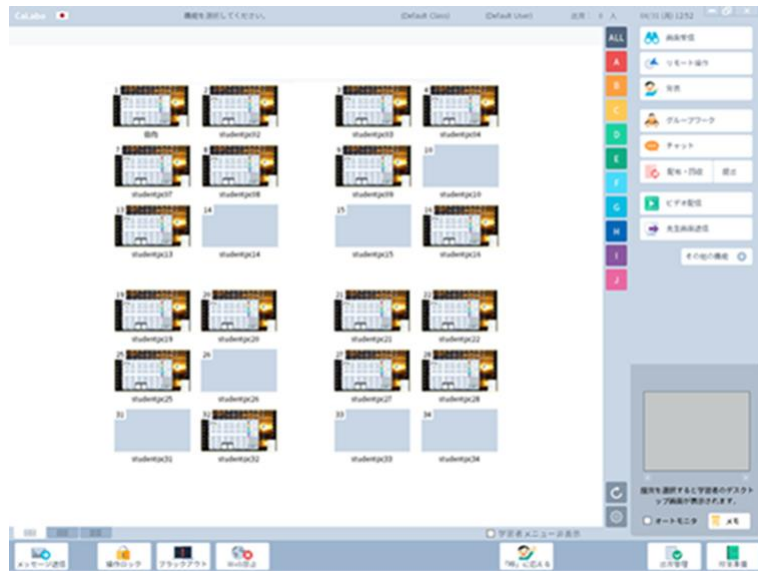


1. [授業準備]ボタンをクリック
⇒ 授業準備ダイアログが表示されます。
2. 次の授業で使うクラスをクリック
⇒ 選択されたクラスの色が青に変化します。
3. [授業変更]をクリック
⇒ 変更確認のウィンドウが表示されます。
4. [OK]をクリック
⇒ 選択したクラス画面に切り替わります。



座席アイコンへ学習者名を表示

※ 設定によっては学習者が Windows にサインインすると名前が表示されます。
出席票で入力した名前を表示する設定の場合、学習者は自分で出席票を表示します。



座席アイコンの下に学習者が入力した名前が表示されます。

先生は CaLabo LX コントロール画面を起動しておきます。

⇒ 学習者PC画面右下に「学習者メニュー」が表示されます。

学習者の操作

1. 学習者は、画面右下のメニューから[出席]ボタンをクリック

⇒ 出席票が表示されます。



2. 名前を入力し、[出席]ボタンをクリック
(必要であれば、番号も入力させます。)

⇒ 学習者メニューに名前が表示されます。

出席結果の出力

The screenshot shows the CaLabo software interface. A dialog box titled "出席管理" (Attendance Management) is open, displaying options for "出席票配布" (Issue Attendance Ticket) and "出席履歴管理" (Manage Attendance History). The dialog also includes sections for "出席票締切" (Attendance Ticket Deadline) and "出席結果保存" (Save Attendance Results), each with radio buttons for "経過時間で指定" (Specify by elapsed time) and "時刻を指定" (Specify by time), and dropdown menus for time selection. The "保存" (Save) button is circled in orange and labeled with a "2", and the "閉じる" (Close) button is circled in orange and labeled with a "3". The "出席管理" button in the bottom right corner of the main interface is circled in orange and labeled with a "1".

1. 出席をとりたいタイミングで[出席管理]ボタンをクリック

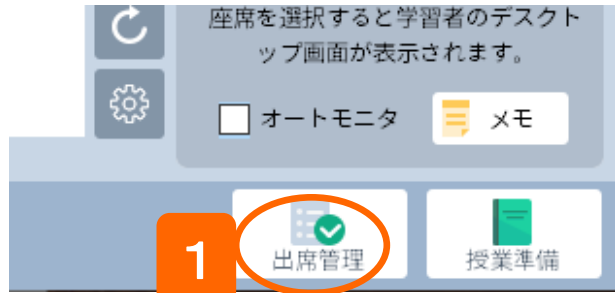
⇒ 「出席管理」ダイアログが表示されます。

2. [保存]ボタンをクリック

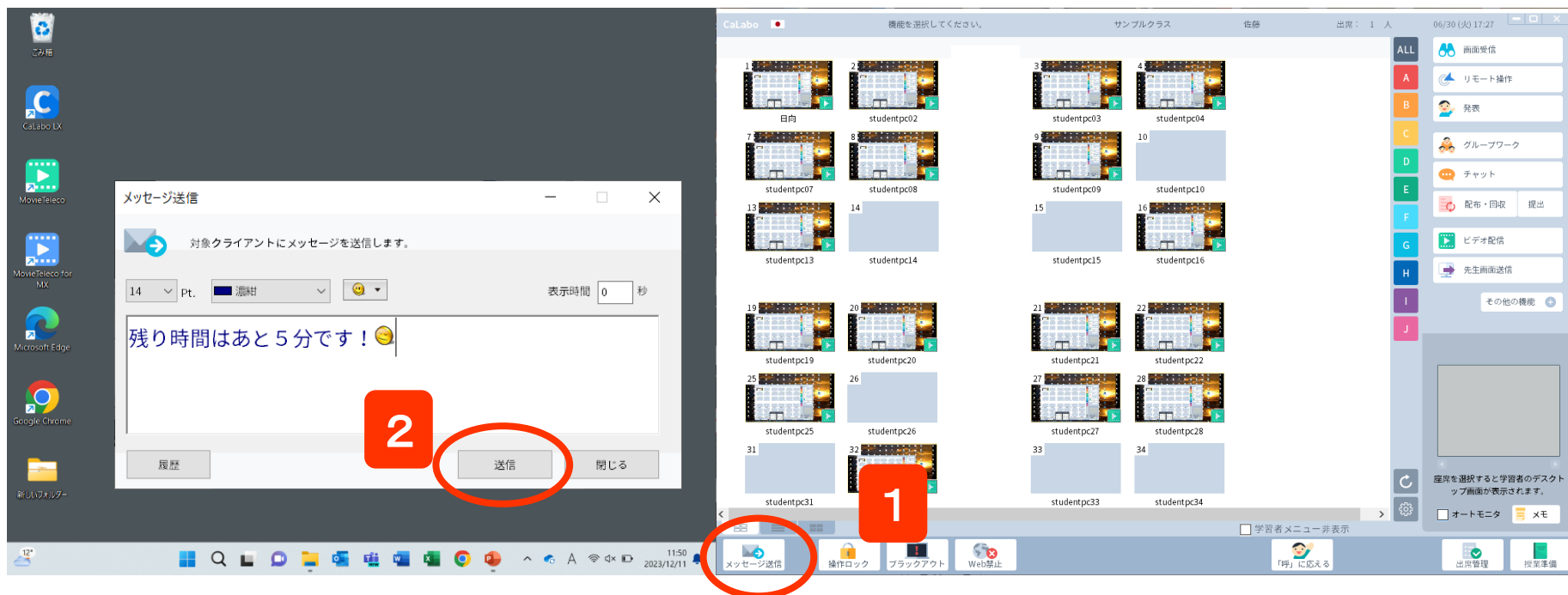
⇒ 決められたパスに、現在の日時のファイル名がついた出席結果ファイルが保存されます。

3. 授業にもどる場合は[閉じる]ボタンをクリック

出席結果の集計



1. コントロール画面の[出席管理]ボタンをクリック ⇒ 「出席管理」ダイアログが表示されます。
2. [出席履歴管理]ボタンをクリック ⇒ 出席履歴管理ツールが起動されます。
3. [設定]ボタンをクリックし、出席履歴ファイルが保存されているパスを指定
4. 対象となるクラスを選択
5. [集計開始]ボタンをクリック ⇒ 出席簿が表示されます。



1. [メッセージ送信]ボタンをクリック

⇒ メッセージ画面が表示されます。

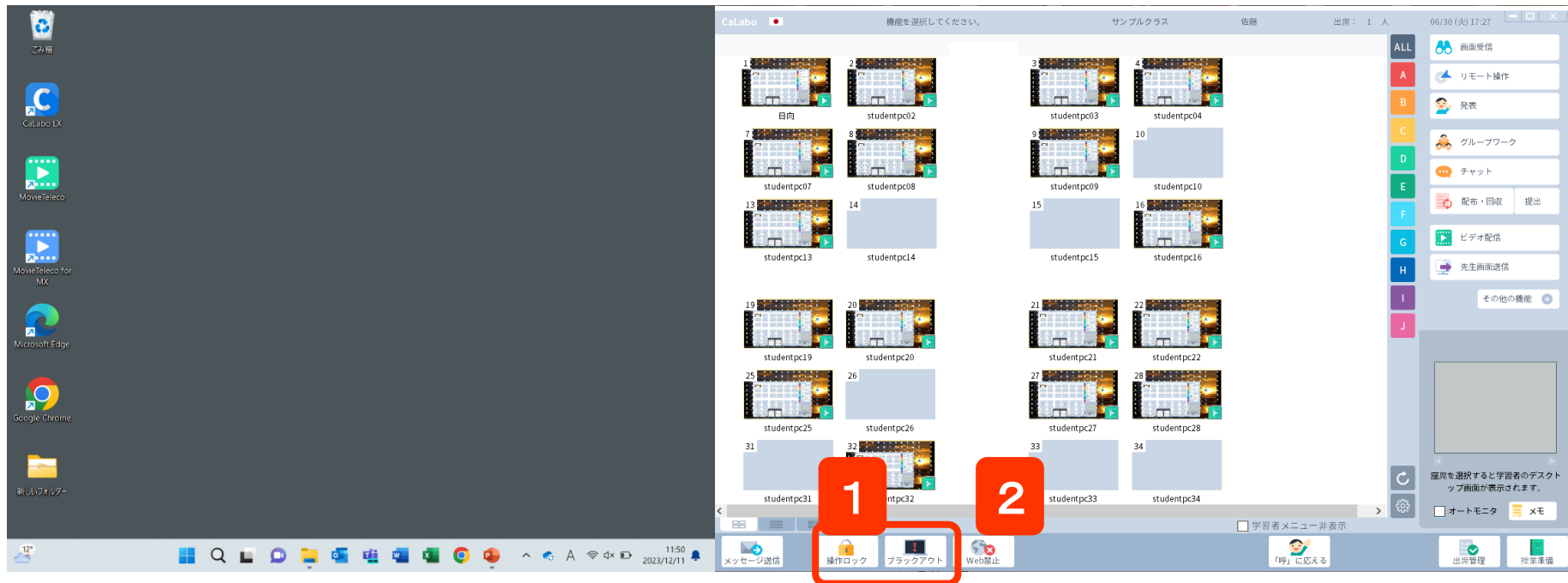
2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、 [送信]ボタンをクリック

⇒ 学習者にメッセージが表示。

※ 一部の学習者にメッセージを送る場合は[メッセージ送信]ボタンをクリックする前に、対象となる座席を選択しておきます。

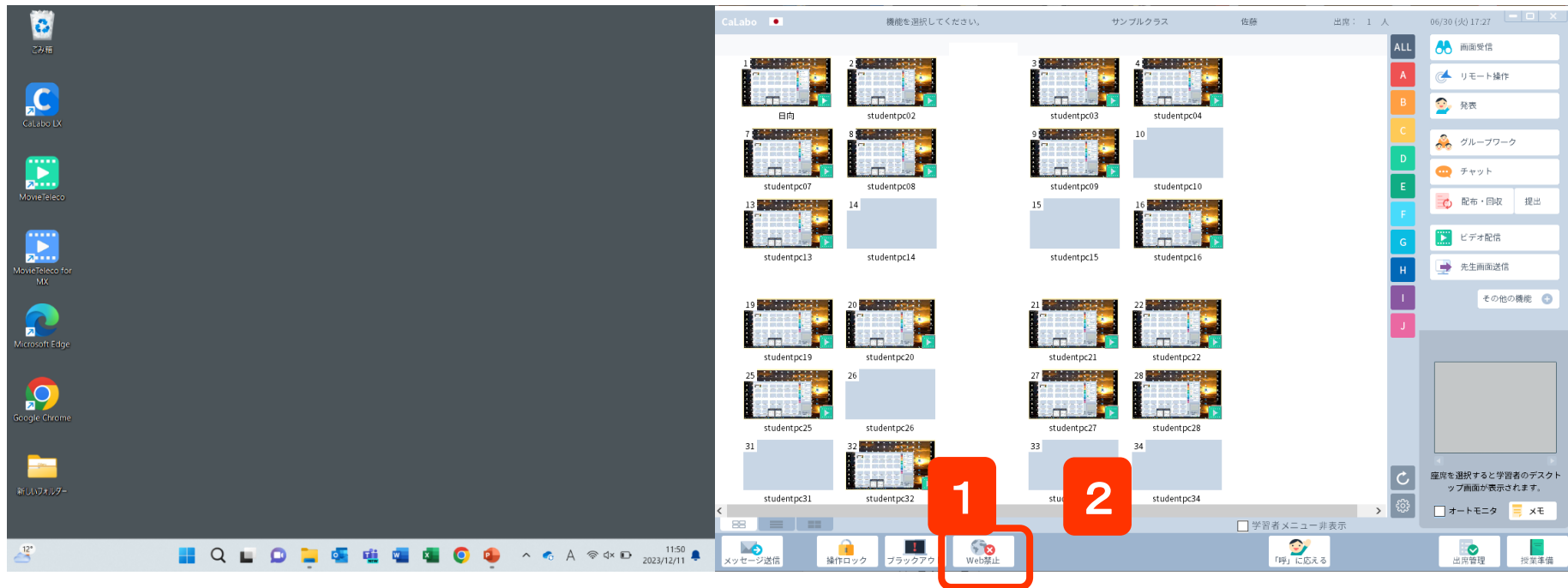
フォントサイズ : メッセージのフォントサイズを変更します。
フォントカラー : メッセージの色を変更します。
エモーティコン(顔文字) : メッセージ中に顔文字を挿入します。
表示時間 : 学習者PCに表示されたメッセージを指定した時間で閉じます。(「0秒」を指定した場合、学習者が自分で閉じるまで表示されたままとなります。)

学習者の操作をロックする



1. [操作ロック] ボタンをクリック
⇒ 学習者のキーボード・マウスが操作できなくなります。
[ブラックアウト] ボタンをクリック
⇒ 学習者の画面が真っ黒になり、キーボード・マウスが操作できなくなります。
2. 解除するには、クリックしたボタンを再度クリック

Web閲覧を禁止する



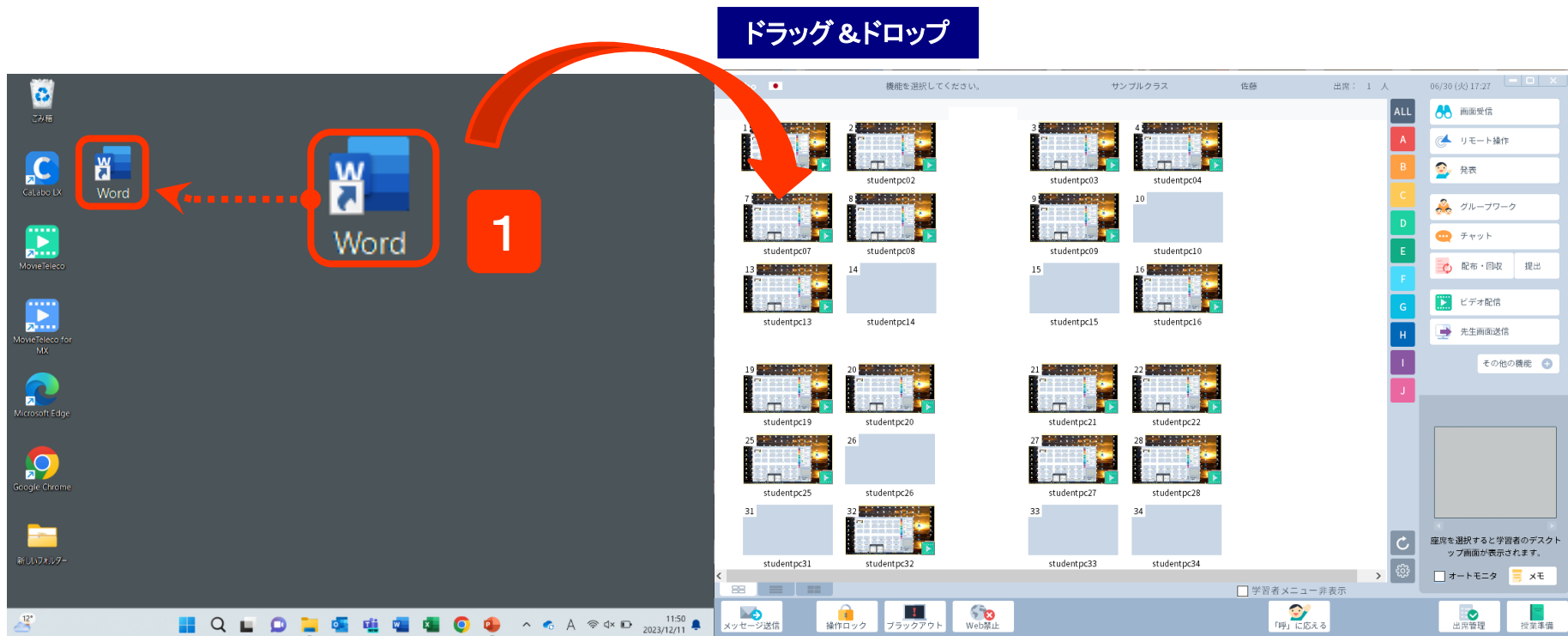
1. [Web禁止] ボタンをクリック

⇒ 学習者側で開いていたWebサイトが閉じ、Webブラウザを起動できなくなります。

※ 禁止するブラウザはシステムで設定できます。

2. 解除するには、クリックしたボタンを再度クリック

学習者のアプリケーションを起動する



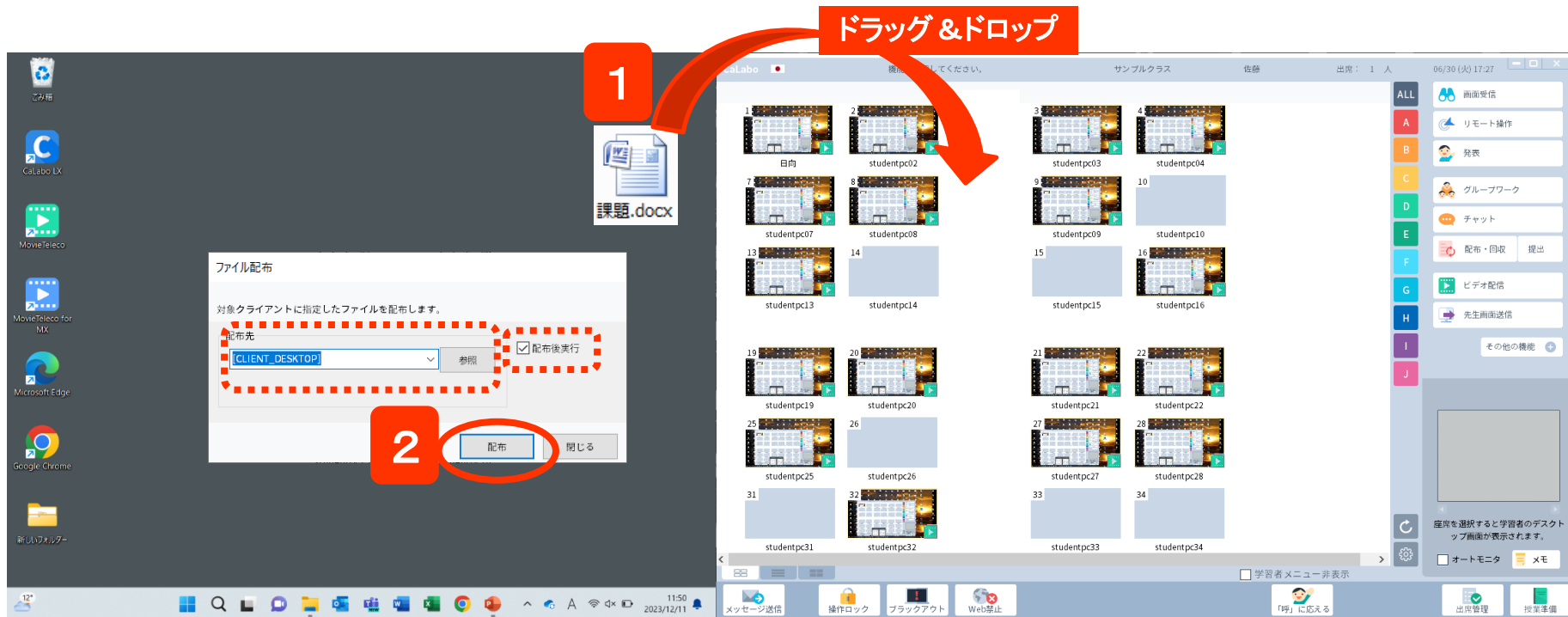
1. 一斉起動するプログラムファイルやリンクをクラスエリアにドラッグ & ドロップ

⇒学習者側のアプリケーションが起動されます。

※ 「その他の機能」から[アプリ起動]でも、学習者のアプリケーションを一斉起動することができます。



1. 一齐起動するWebサイトを先生PCで表示
2. Webサイトのファビコン(URL先頭にあるマーク)をクラスエリアにドラッグ&ドロップ
⇒ 学習者PCに指定したWebサイトが表示されます。



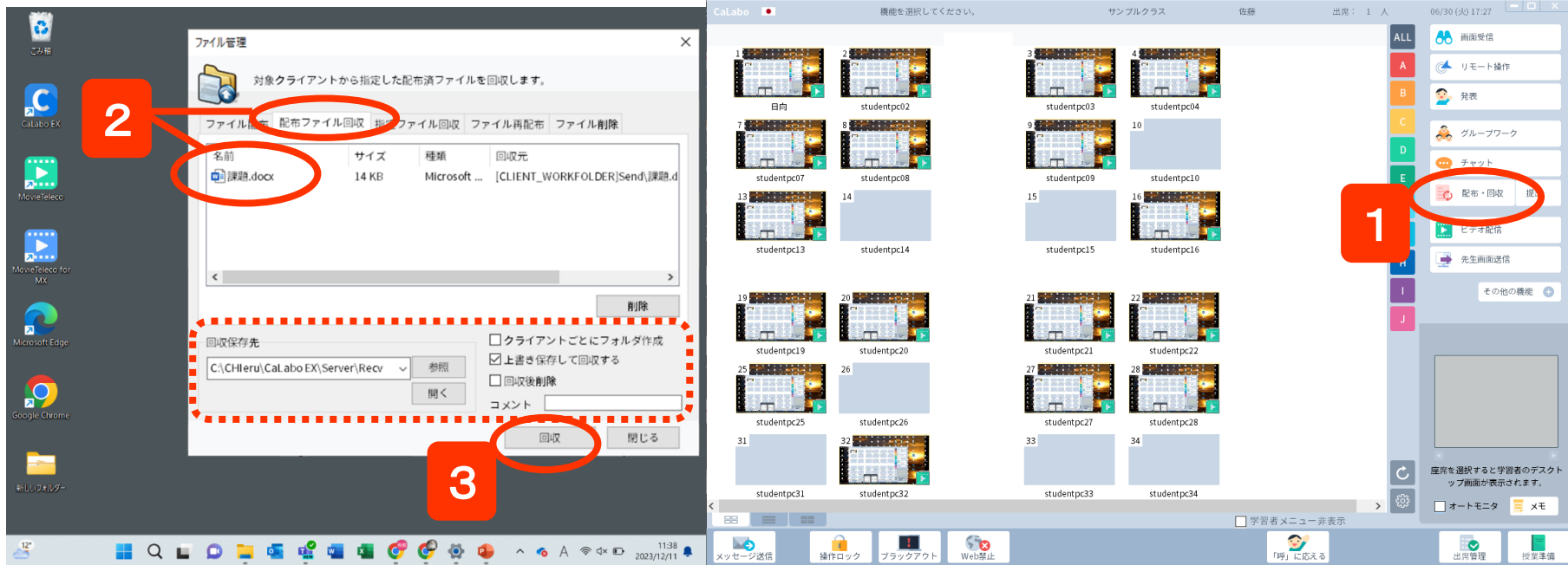
1. 配布したいファイルをクラスエリアにドラッグ & ドロップ
⇒ [ファイル配布] ダイアログが表示されます。
2. 配布先のフォルダを確認して [配布] ボタンをクリック
⇒ 学習者PCにファイルがコピーされます。

※ 「配布後実行」にチェックを入れておくと、配布時に自動的にオープンします。

※ ファイルを選択する代わりに フォルダをドラッグ & ドロップすると、フォルダごと配布できます。

※ 配布後に出席した学習者には、配布済みのファイルリストが表示され、自分で取得できます。(遅刻者対応)

配布したファイルに書き込ませて集めます。



1. [配布／回収] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル管理」ダイアログが表示されます。
2. 「配布ファイル回収」タブをクリック、
配布ファイル・フォルダの一覧から回収対象を選択
3. 回収先を確認し、[回収] ボタンをクリック
⇒ 指定したフォルダにファイル(またはフォルダ)が回収されます。

クライアントごとにフォルダ作成:

ファイル名を変更せずに回収したい場合、学習者ごとにフォルダを作成して回収します。

上書き保存して回収する:

回収時、強制的に上書き保存して回収します。

回収後削除: 回収後、学習者側のファイルを削除します。

コメント: 再配布時、リストに表示されます。

課題 (Wordなど) を提出させる

学習者が作成したファイルを集めます。

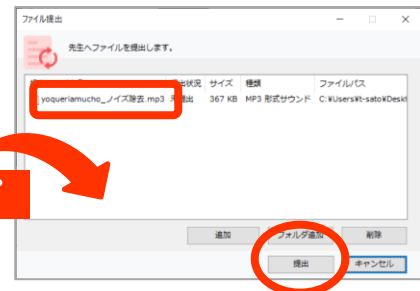


1. [提出] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル提出」ダイアログが表示されます。
2. 提出されたファイルの保存先を確認、
[学習者に提出を許可する] ボタンをクリック
⇒ ボタンが[ファイル提出を停止する]に変わり、学習者がファイル提出
するとリストに表示されます。
3. 終了するには、[ファイル提出を停止する] ボタンをクリック
⇒ 先生・学生の「ファイル提出」ダイアログが閉じられます。

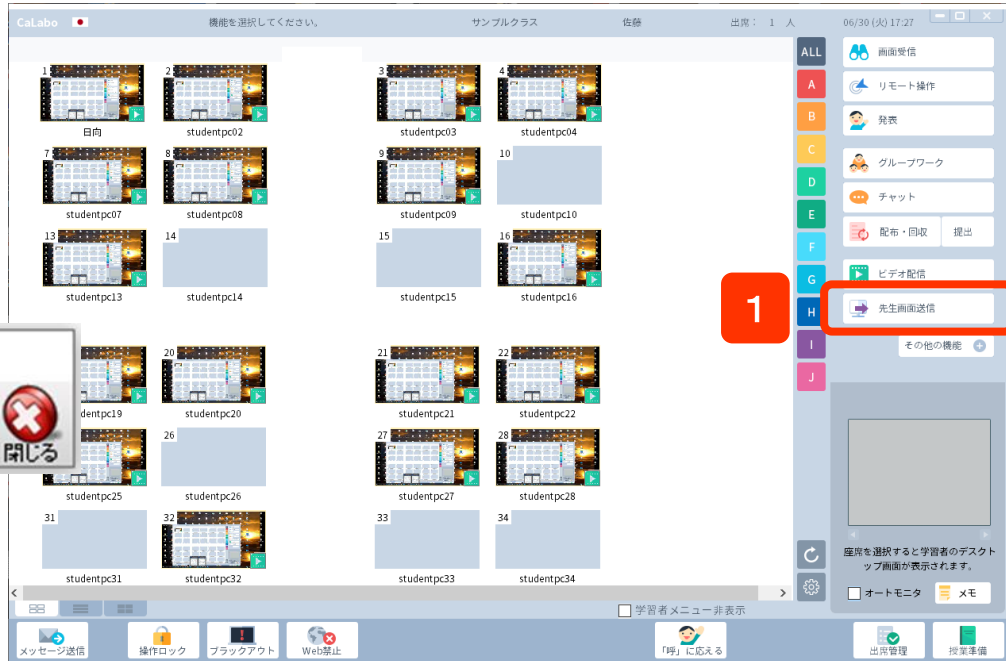
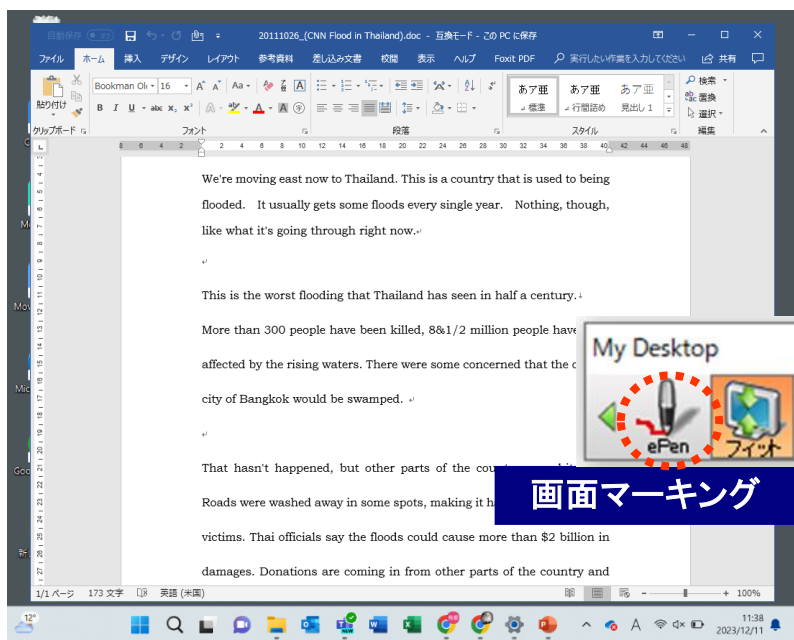
学習者画面

ファイル提出ダイアログ
に提出したいファイルをドラッグ & ドロップ、ファイル
を選択して[提出] ボタン
をクリックします

ドラッグ & ドロップ



先生の画面を見せる



1. [先生画面送信]ボタンをクリック

⇒ 学習者パソコンに先生パソコンの画面が表示されます。

※一部の学習者に見せる場合には、[先生画面送信]ボタンをクリックする前に対象となる座席アイコンを選択しておきます。

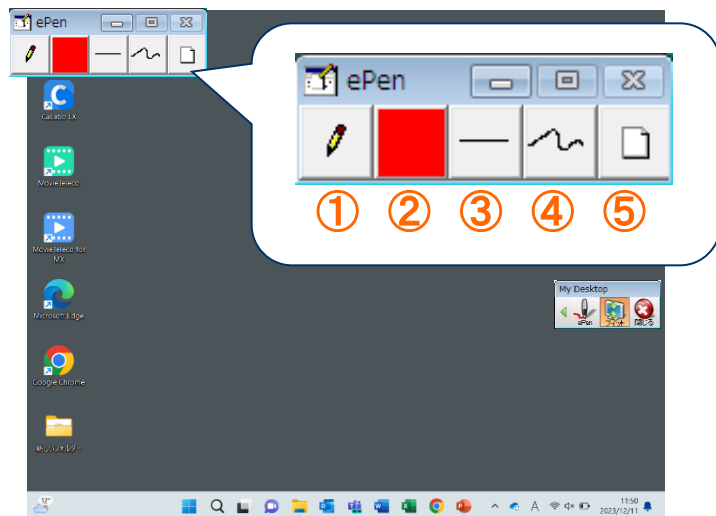
画面マーキング (ePen)



① ② ③ ④ ⑤

- ① マウス操作／マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

先生の画面を見せる(補助機能)

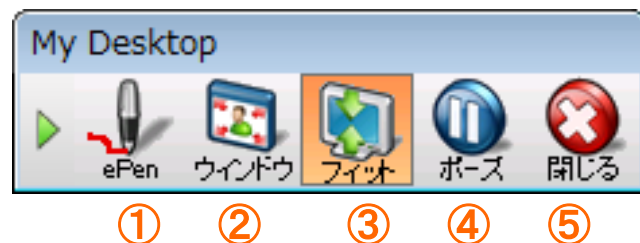


ePenを使って画面にマーキングすることができます。

- ①マウス操作／マーキング切り替え
- ②色変更
- ③太さ変更
- ④描画種類変更
- ⑤全消去

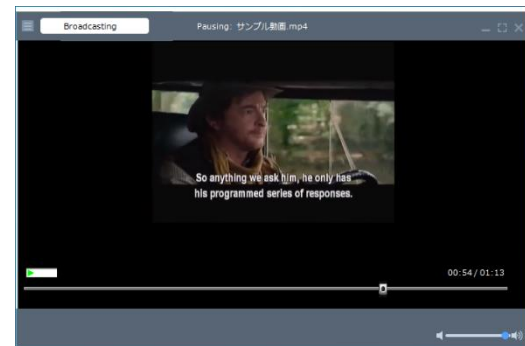
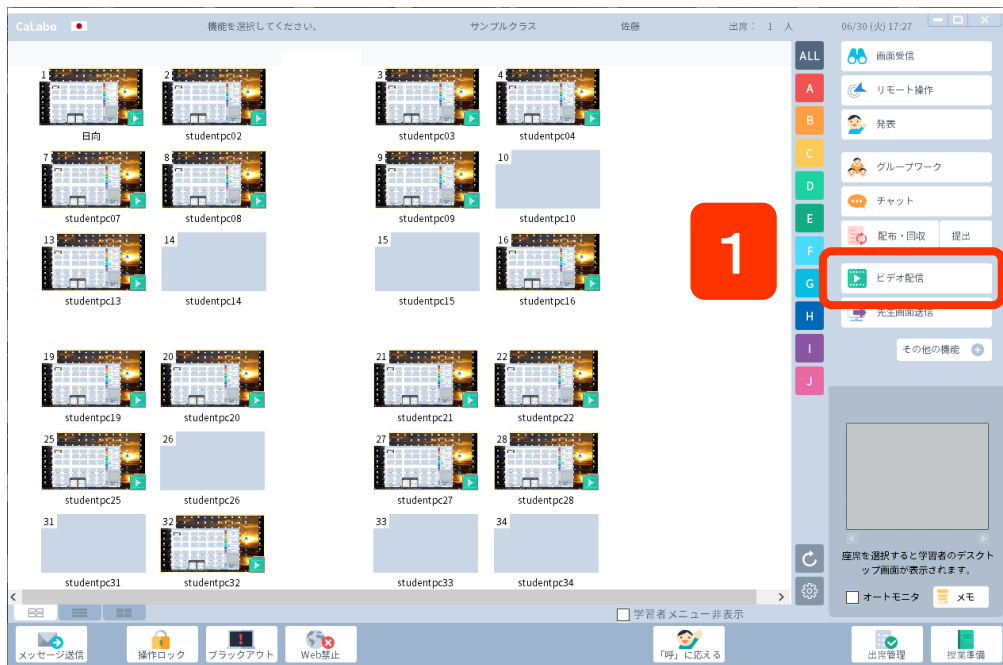
先生画面送信の補助機能

先生画面送信中には、補助機能バーから以下の補助機能を実行できます。



- ①ePen : ePenを起動します。(次ページ参照)
- ②ウィンドウ : 受信ウィンドウのサイズをウィンドウサイズに変更します。
- ③フィット : 先生PCの解像度が大きい場合、生徒のディスプレイサイズに合わせて縮小して表示します。
- ④ポーズ : 学習者PCの画面上で転送中の先生画面を一時的に静止画像にします。
- ⑤閉じる : 画面転送を終了します。

学習者の画面でビデオを見せる



1. [ビデオ配信]ボタンをクリック

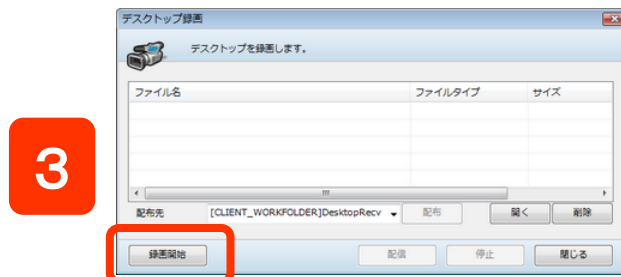
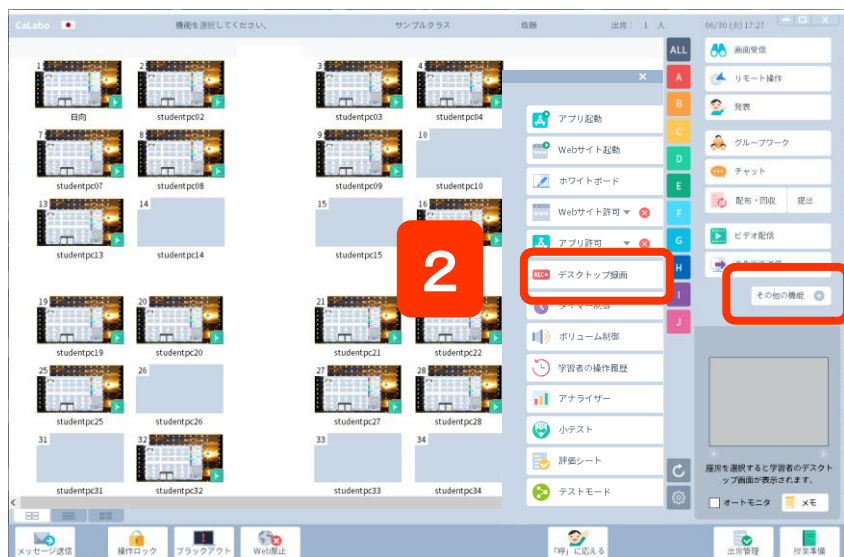
⇒先生PC画面と学習者画面にマルチビューアが起動します。

2. 配信するキャプチャデバイスを選択

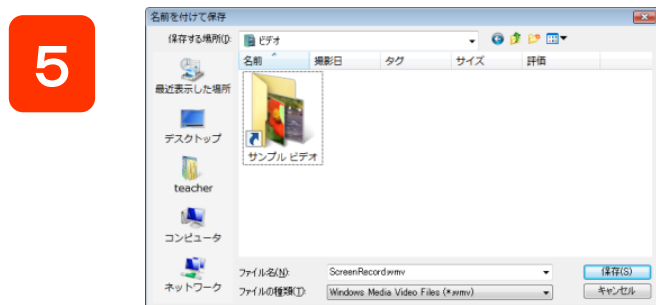
3. [Capture]ボタンをクリック

⇒プレイヤーが先生と生徒に表示され、動画が配信されます。

先生画面の操作を録画する(デスクトップ録画)



1. [アプリ]ボタンをクリック
⇒ アプリメニューが表示されます。
2. [デスクトップ録画]ボタンをクリック
⇒ デスクトップ録画ウィンドウが表示されます。
3. [録画開始]ボタンをクリック
⇒ [録画開始ボタン]が表示されます。
4. [録画]ボタンをクリック
⇒ 録画が開始します。
5. もういちど[録画]ボタンをクリックすると録画が停止し、保存先、ファイル名を指定するダイアログが表示されます。名前を入力し、[保存]ボタンをクリック。
⇒ 保存した録画ファイルは、デスクトップ録画ウィンドウのリストに追加され、配信できるようになります。



学習者の画面を確認する

The screenshot shows a classroom management interface. On the left, a document viewer displays a text document about flooding in Thailand. A blue box with the text "モニタ中の学習者名" (Name of the student being monitored) and a red dashed circle around "[23] 加藤" (Kato) is overlaid on the document. On the right, a grid of student screens is shown. A red circle highlights a student icon in the grid, and another red circle highlights the "画面受信" (Receive Screen) button in the right-hand menu. A red box with the number "1" is placed over the selected student icon, and a red box with the number "2" is placed over the "画面受信" button.

1. 画面を確認したい座席アイコンを選択(複数選択は不可)
2. [画面受信]ボタンをクリック
⇒ 左側の先生画面に、選択した学習者の画面が表示され、補助機能バーのタイトルにモニタ中の学習者名が表示されます。
※モニタ対象者を変更したい場合は、その座席アイコンを選択します。(複数選択は不可)
3. 画面受信を終了するには補助機能バーの[閉じる]をクリックするか、[画面受信]のボタンをクリック

1人ずつ順番に画面を確認する

※分割画面受信モードOFFの場合

モニタ中の学習者名

[23] 加藤

サブメニュー

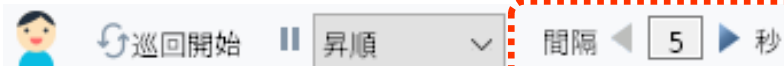
画面受信

1. [画面受信]ボタンをクリック

⇒ 左側の先生画面に、選択した学習者の画面が表示され、補助機能バーのタイトルにモニタ中の学習者名が表示されます。一定時間経つと、次の学習者へ移ります。

※ [画面受信]をクリックする前に複数の座席を選択しておくと、それらの座席を順番に表示します。

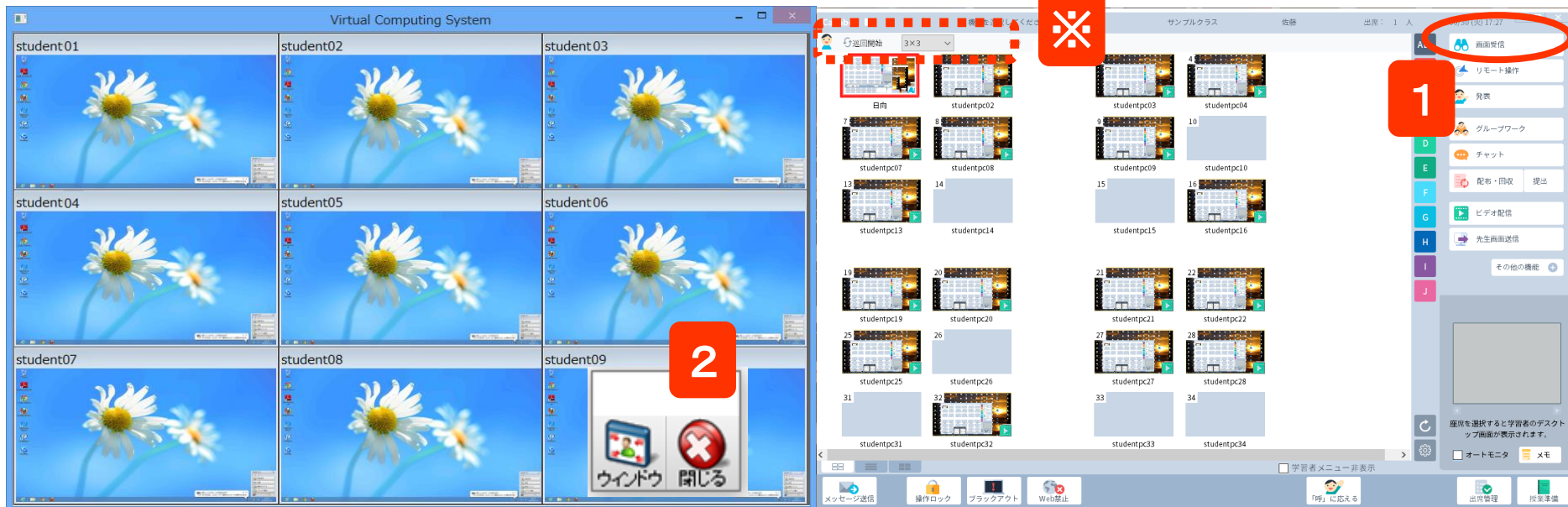
サブメニュー



次の学習者へ移るまでの秒数を指定したい場合サブメニュー「間隔」の ◀ ▶ をクリックします。
(5 ~ 20秒)

複数の学習者の画面を一度に確認する

※分割画面受信モードONの場合（[クラス設定]で設定する）

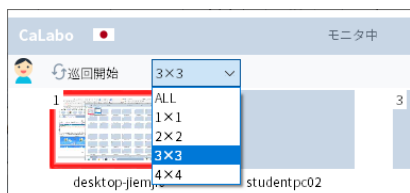


1. [画面受信]ボタンをクリック

⇒先生モニターには、座席番号の小さい順に、3×3で出席している学習者の画面が表示されます。
5秒間隔で受信対象が切り替わり、表示されます。

2. 画面受信を終了するには補助機能バーの[閉じる]をクリックするか、[画面受信]のボタンをクリック

※ 分割受信数を変更する



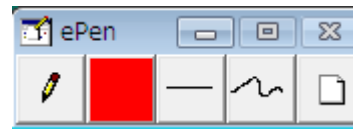
- ・分割受信数を変更するには、いったん[巡回停止]ボタンをクリックして画面受信を停止、プルダウンメニューから分割受信数（ALL、1×1、2×2、3×3、4×4）を選択します。
[巡回開始]ボタンをクリックすると変更した分割受信数で画面受信を開始します。
- ・「ALL」の場合、出席している学習者全員の画面がスクロールなしで表示されます。
各学習者の画面の大きさは出席人数にあわせて適宜調整されます。

学習者の画面を操作して指導する

The screenshot shows the CaLabo interface. On the left, a student's screen is displayed, showing a document titled "Lesson7_7月組A.docx" with the text "Lesson 7 Biomimetics - Design by nature". A red circle labeled "3" highlights the "画面マーキング" (Screen Marking) toolbar at the bottom of the student's screen. On the right, a grid of student icons is shown, with a red circle labeled "1" highlighting one of the icons. A red circle labeled "2" highlights the "リモート操作" (Remote Control) button in the right-hand sidebar.

1. 添削したい学習者をクリック
2. [リモート操作] ボタンをクリック
⇒ 左画面に学習者画面が表示され、直接操作できます。
⇒ 対象者を変更するには次の座席アイコンをクリックします。
3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、または再度 [リモート操作] ボタンをクリック

画面マーキング(ePen)

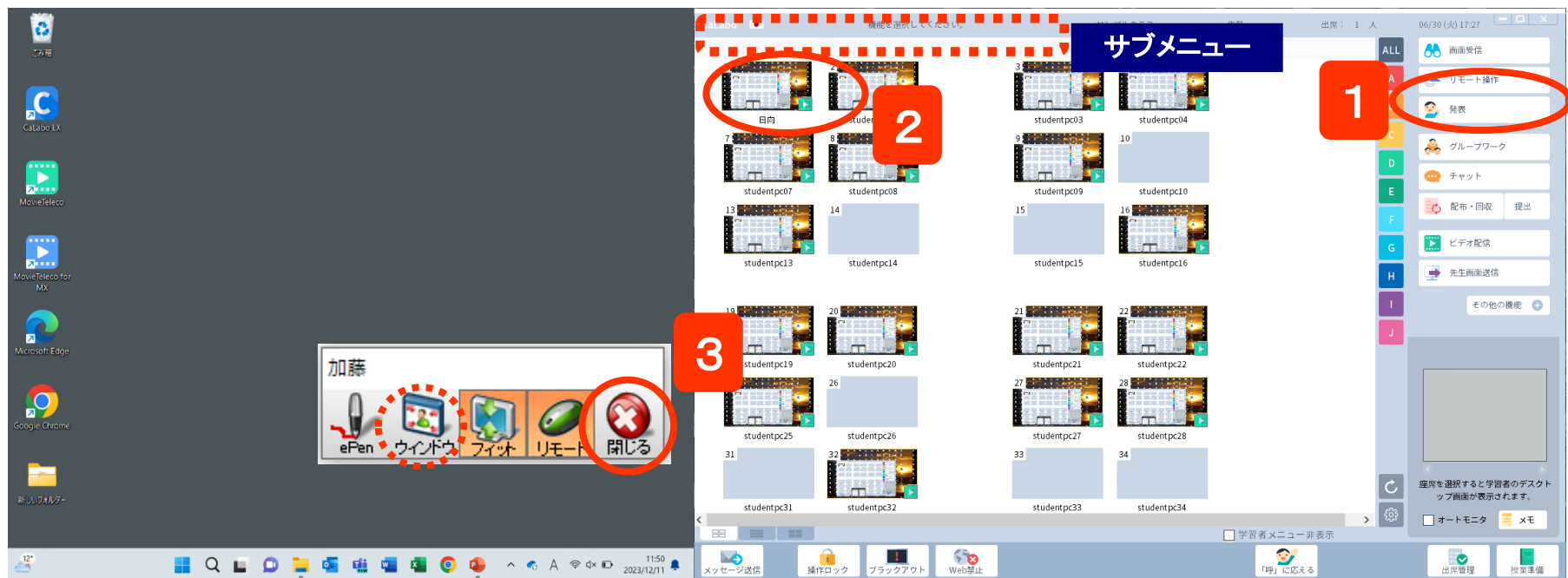


- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

- ① マウス操作 / マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

※ 手順1, 2. の代わりに、座席アイコンをダブルクリックしても[インカム]状態になります。

1人に発表させる



1. [発表]ボタンをクリック

2. 発表させたい学習者をクリック

⇒ 左の先生画面と学習者全員に発表者画面が表示されます。
先生は発表者画面を直接操作できます。

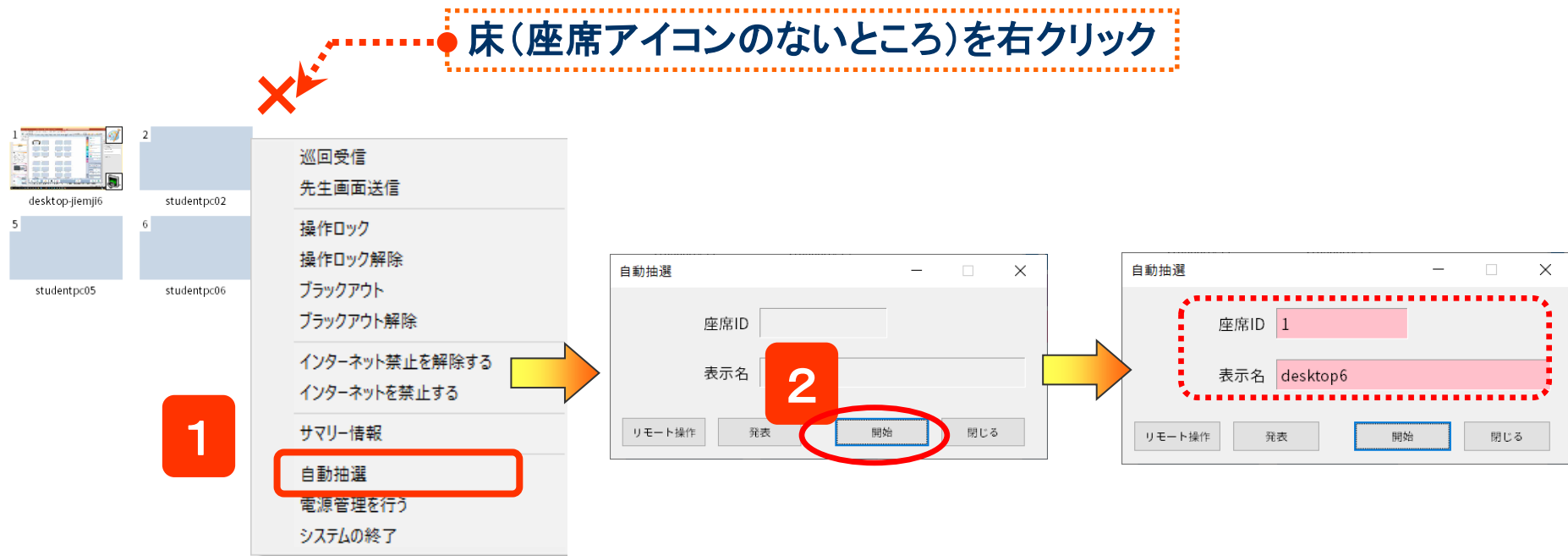
⇒ モデル元を変更するには、別の座席アイコンをクリックします。

3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、
または 再度 [発表] ボタンをクリック

※ 発表元の画面をウインドウサイズで表示するには補助機能バーの[ウインドウ]をクリックします。

※ 手順1. 2. を逆にすると、発表先を選ぶダイアログが表示され、一部の学習者に対して発表できます。

学習者をランダムに指名する



1. クラスエリアの座席のない部分で右クリックし、表示されるメニューから「自動抽選」を選択
⇒「自動抽選」ダイアログが表示されます。

2. [開始]ボタンをクリック

⇒少しすると、座席ID・表示名欄に1人の学習者が表示されます。表示欄の背景がピンク色になります。

※ 抽選後に[リモート操作] / [発表]ボタンをクリックすると、対象者とをリモート操作 / 発表元とすることができます。

リモート操作: 指名した学習者の画面を操作できる

発表: 指名した学習者を発表元として発表させる

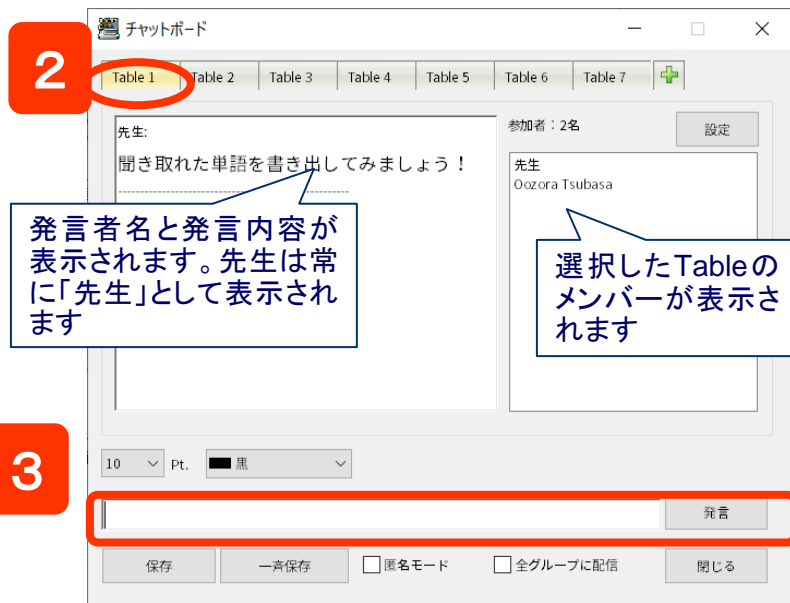
※ 特定の学習者(複数)の中から選びたい場合、対象となる座席アイコンを選択状態にします。
(現在出席中の学習者全員の中から選びたい場合は、特に選択する必要はありません)

チャット

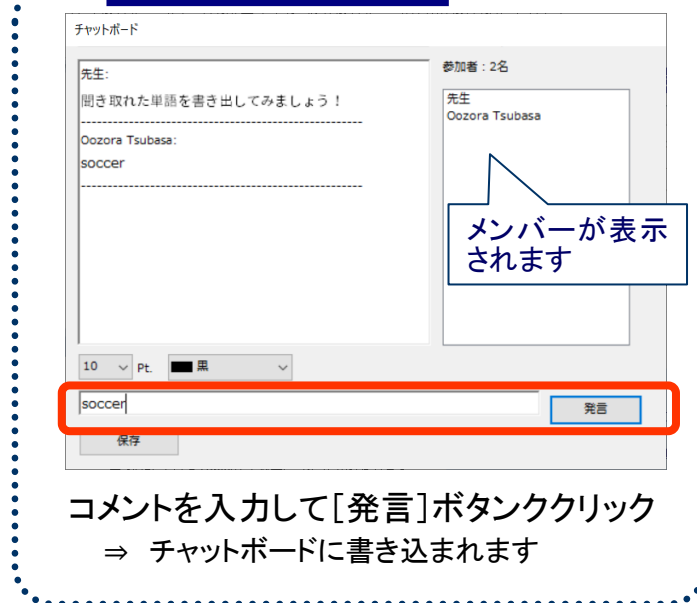
チャットボードを起動し、学習者どうしで文字のやりとりをさせます。
 会話やグループワークと併用すると、ペアやグループ内でのやりとりになります。
 併用せず、対象座席を選択せずに実行すると、クラス全員参加のチャットになります。



先生チャットボード



学習者チャットボード



1. [チャット]ボタンをクリック
⇒ 先生画面と学習者画面にチャットボードが表示されます。
2. 対象Tableをクリック
3. コメントを入力し[発言]ボタンをクリック
⇒ 選択しているTableの学習者にコメントが送られます。

匿名モード : 学習者のチャットボードには発言者名を表示しない
 (先生には表示される)

全グループに配信 : 全Tableに先生のコメを送る

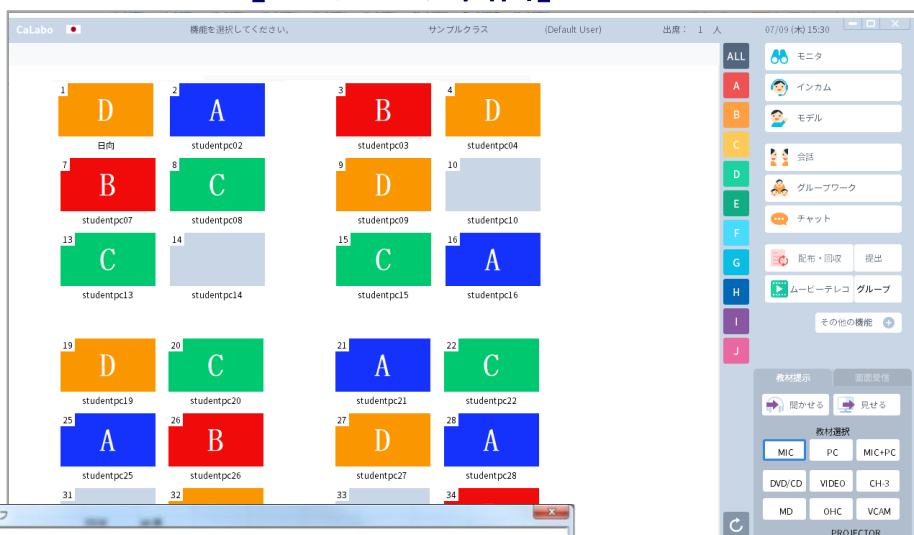
[保存] : 選択したTableまたは全Tableのチャット内容をファイルに保存

[一斉保存] : 先生の操作で、学習者側にチャット内容を一斉に保存

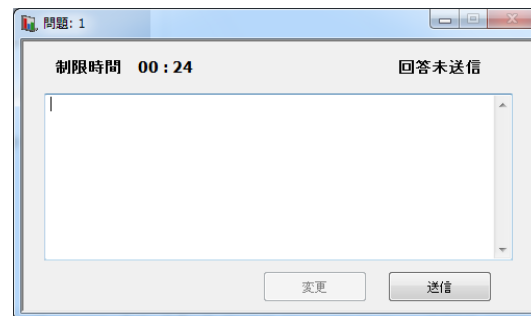
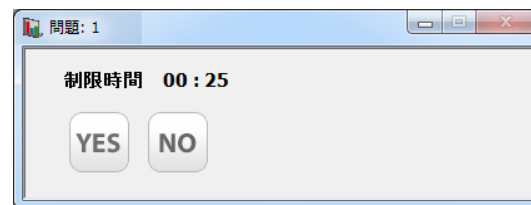
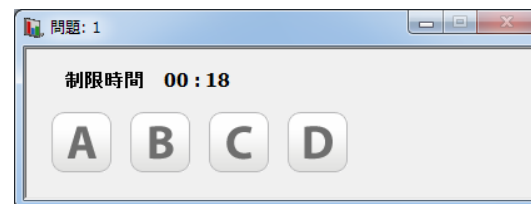
アナライザー概要

すぐ使えるシンプルなアナライザーを使い、その場でクラス全体の理解度を把握できます。アナライザーを起動するとコントロール画面のアイコンが変わり、回答状況が表示されます。結果はその場でグラフ化され、学習者の回答内容・回答時間も確認することができます。

【コントロール画面】

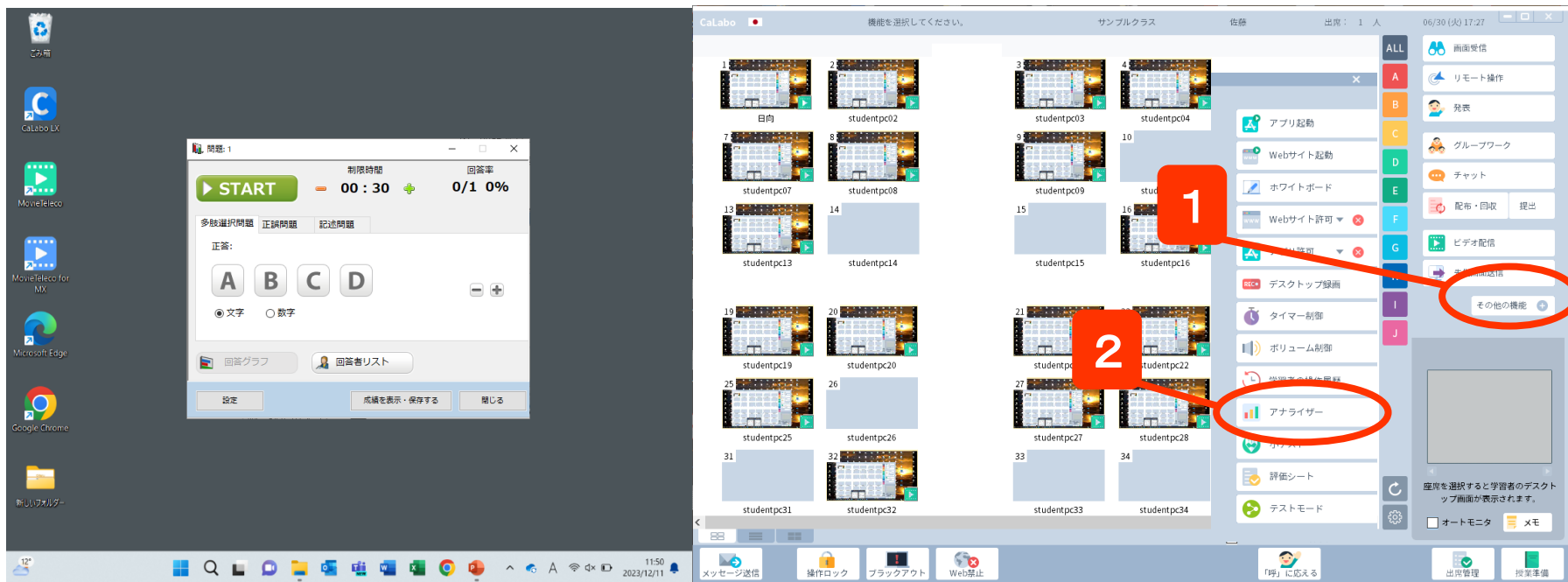


【学習者回答画面】



【回答結果画面】





【アナライザー画面】

制限時間設定
(+で増減)

問題の種類選択

正答の指定
(指定なしも可)



- ・制限時間の既定値(30秒)
 - ・+ボタンの増減値(10秒)
 - ・STOP時に回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・学習者にも回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・アナライザー画面終了時、自動でCSV保存(保存する)
(保存先=(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results)
- ※かっこ内は既定値

1. [その他の機能]ボタンをクリック
⇒「その他の機能」パネルが表示されます。
2. [アナライザー]ボタンをクリック
⇒アナライザー画面が表示されます。

多肢選択問題

【先生側】

- 選択肢は2～6個([+][−]ボタンで増減)
- 単一正解
- ボタン表記はアルファベット(A～F)または数字(1～6)を指定可

【学生側】

正誤問題

【先生側】

- ボタン表記は「Y/N」「✓/×」「○/×」を指定可

【学生側】

記述問題

【先生側】

- 正答と「自動で採点する」を指定すると正誤判定可
- 自動で採点する場合、大文字・小文字を区別するか否かを指定可

【学生側】



1. 問題種類, 正答, 制限時間を指定し、[START]ボタンをクリック

⇒ [START]ボタンが[STOP]ボタンに変わり、制限時間のカウントダウンが始まります。「回答率」には出席者数と回答者数、回答した割合(%)が表示されます。
同時に、学習者側にアナライザー回答画面が表示され、学習者の回答を受け付けます。

※ 正答は、問題実行前ではなく、回答受け付けを締め切った後に指定することもできます。
※ 制限時間は、問題実行中でも[+][−]ボタンで変更することができます。

2. 制限時間前に回答受け付けを締め切るには[STOP]ボタンをクリック

⇒ 回答を締め切り、手順1. の画面にもどります。



3. [回答グラフ][回答者リスト]ボタンをクリック

⇒ 選択肢ごとの回答者数の棒グラフ(記述問題の場合、回答/未回答数)、学習者ごとの回答内容の一覧を表示します。(回答受け付け中も表示できます。)
[学習者に表示する]をクリックすると、同じ内容を学習者に表示します。

4. アナライザーを終了するには[閉じる](または[×])ボタンをクリック

⇒ アナライザー画面や「回答グラフ」「回答者リスト」を閉じ、開始から終了までの結果をCSVファイルに出力します。

(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results ¥(日付)
¥AnalyzerResults_YYYYMMDD_hhmmss.csv

【回答グラフ】



ここで正答を指定・変更できます

[学習者に表示する]ボタン

評価シート概要

デジタルの評価シートを配布し、学習者どうしでプレゼンテーション等の評価をすることができます。
 評価シートでは、項目ごとの点数とコメントで評価をすることができます。
 評価結果を即座に集計し、先生が確認するファイルと発表者へのフィードバック用のファイルが作成されます。

【評価画面】

The screenshot shows the evaluation sheet interface. The top window displays the evaluation item name 'グループAの発表' and the instruction '各グループの発表を5段階で評価してください'. Below this, there are two text input fields for comments: '(1) 自由に感想を記入してください' and '(2) 改善点があれば記入してください'. The bottom window shows the evaluation point grid with five categories: (1) 内容・構成, (2) 話し方・対応, (3) チームワーク, (4) 時間, and (5) 質疑応答. Each category has a grid of buttons for ratings from 5 to 1.

【評価結果ファイル】

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|----|-----------------------|-------|-------|------|---------|--------|-----|-------|-------|
| 1 | 2018/1/31 16:23 | | | | | | | | |
| 2 | グループAの発表 | | | | | | | | |
| 3 | 各グループの発表を5段階で評価してください | | | | | | | | |
| 4 | | 内容・構成 | 話し方・対 | チームワ | 時間(1-5) | 質疑応答(1 | 合計点 | 自由に感想 | 改善点があ |
| 5 | 先生 | 4 | 5 | 4 | 4 | 5 | 22 | 準備がしっ | 時間の使い |
| 6 | 岡本 寿々花 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 17 | ちゃんとし | もっと声を |
| 7 | 有田 たかお | 5 | 5 | 2 | 4 | 4 | 20 | なかなかの | チームワー |
| 8 | さだ 由樹 | 3 | 2 | 4 | 3 | 5 | 17 | もうずこし | 特になし |
| 9 | 富田 桃子 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 14 | できるだけ | 内容が薄が |
| 10 | 石橋 龍吉 | 4 | 5 | 4 | 3 | 5 | 21 | この前のは | 先日の者よ |
| 11 | 秋本 雅之 | 2 | 3 | 5 | 4 | 2 | 16 | 理論的に述 | 検証結果が |
| 12 | 役所 だん吉 | 4 | 4 | 3 | 5 | 3 | 19 | 今度はどう | 齊藤さんの |
| 13 | 上野 真吾 | 5 | 1 | 2 | 4 | 4 | 16 | 知らないこ | 今度の発表 |
| 14 | 岡山 浩介 | 3 | 4 | 4 | 2 | 5 | 18 | 前回よりも | 声の大きさ |
| 15 | 内藤 璃子 | 2 | 5 | 5 | 3 | 4 | 19 | 発表の仕方 | 発表の仕方 |
| 16 | 早坂 | | | | | | | | |
| 17 | 田淵 | | | | | | | | |
| 18 | 学習 | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | |

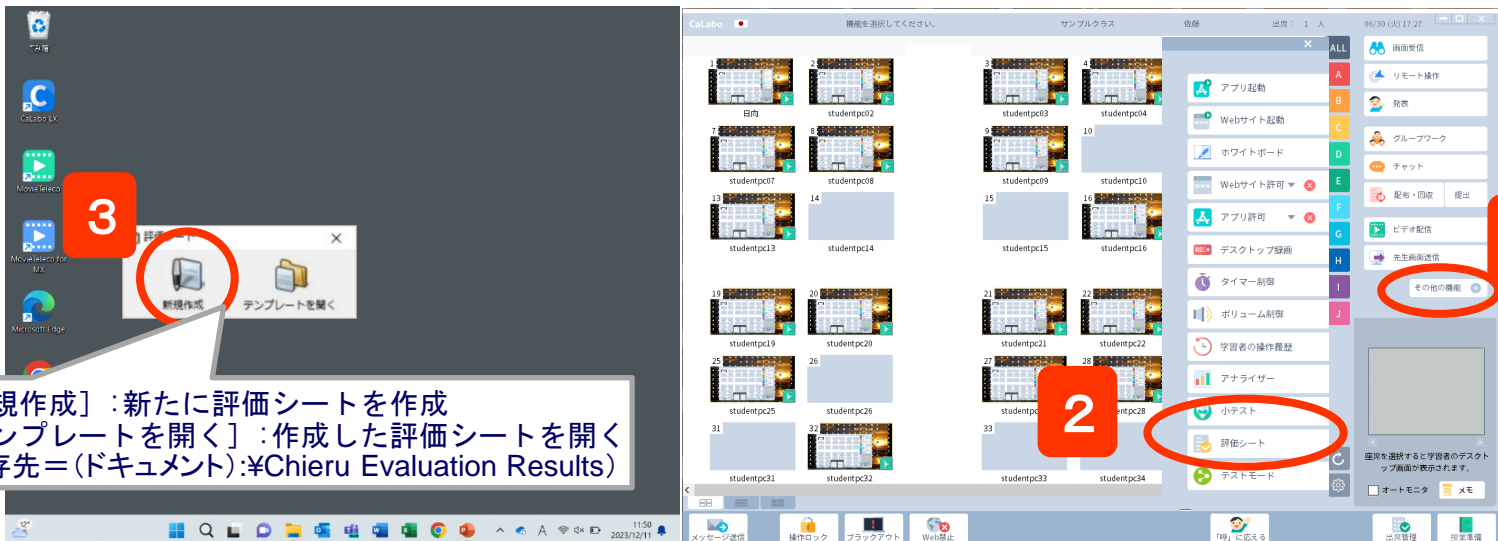
The screenshot shows the evaluation average graph. It displays five categories with their respective average scores and bar charts:

- (1) 内容・構成: 3.5
- (2) 話し方・態度: 3.0
- (3) チームワーク: 4.0
- (4) 時間: 4.5
- (5) 質疑応答: 2.0

At the bottom right, it shows the total score: 合計: 17.0 / 25 and a button labeled '閉じる'.

【評価平均グラフ】

評価シート フォームを作成・保存する



[新規作成] : 新たに評価シートを作成
 [テンプレートを開く] : 作成した評価シートを開く
 (保存先=(ドキュメント):¥Chieru Evaluation Results)

【評価シート画面】



名称・説明を入力

評価項目の設定
(項目数・評価の段階)

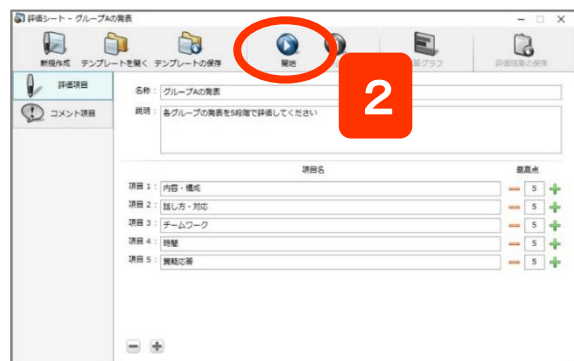
コメント項目の設定

評価・コメント
項目の切替

評価・コメント
項目の増減
(+で増減)

1. [その他の機能]ボタンをクリック
⇒「その他の機能」パネルが表示されます。
2. [評価シート]ボタンをクリック
⇒ 評価シート起動画面が表示されます。
3. [新規作成]ボタンをクリック
⇒ 評価シート画面が表示されます。
4. 名称・説明を入力し、評価項目を設定
評価項目: 項目数20個まで, 評価レベル2~100段階
コメント項目: 項目数10個まで
5. [テンプレートの保存]ボタンをクリック
⇒ 保存先・ファイル名を指定して保存します。

評価シートで評価を実行する



1. [評価シート]ボタンをクリックし、
[テンプレートを開く]ボタンをクリック
⇒ 保存した評価シートフォームを選択して
開きます。
2. [開始]ボタンをクリック
⇒ 学習者に評価シートが表示され、
先生・学習者が評価できます。
先生にはグラフも表示されます。



3. 先生も評価、「グラフ表示」画面で
評価した人数を確認
4. [停止]ボタンをクリック
⇒ 評価を締め切り、集計結果が自動で
保存されます。

学習者画面



項目ごとに評価を選択、コメントを入力します。
評価/コメント項目の切り替えは[項目切り替
え]ボタンで切り替えます。

[評価を送信する]ボタンをクリックすると、グ
ラフ表示の学習者数がカウントUPされます。

【グラフ表示画面】



3
評価した
学習者数

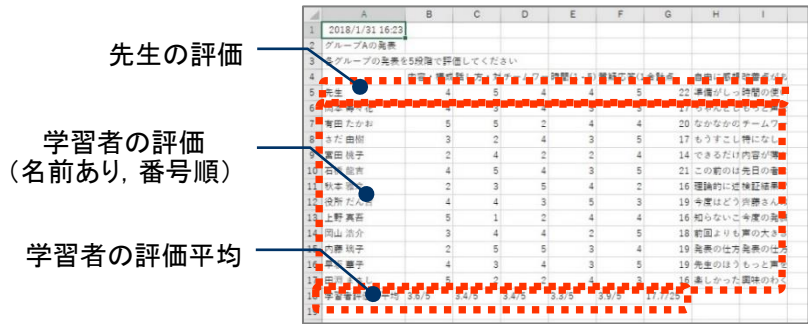
評価した学習者
の平均

評価シートの結果ファイル

評価シートの実行を締め切ると、自動的に次の3種類のファイルが保存されます。

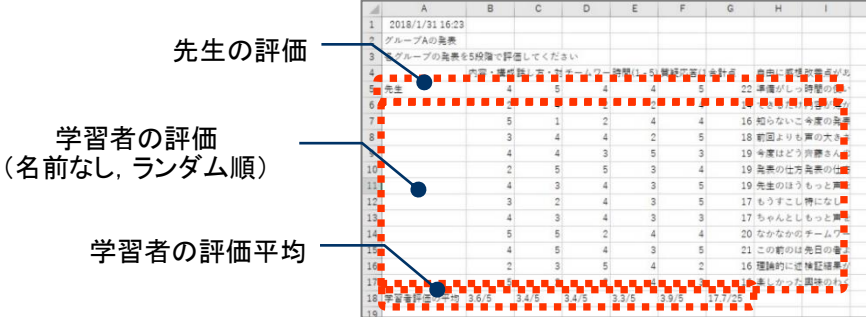
【評価結果_YYYYMMDDhmmss.csv】

先生の確認・記録用に、先生の評価・コメント、学習者ごとの評価・コメント および 項目ごとの学習者平均が出力されます。評価者名も出力されます。(番号順)



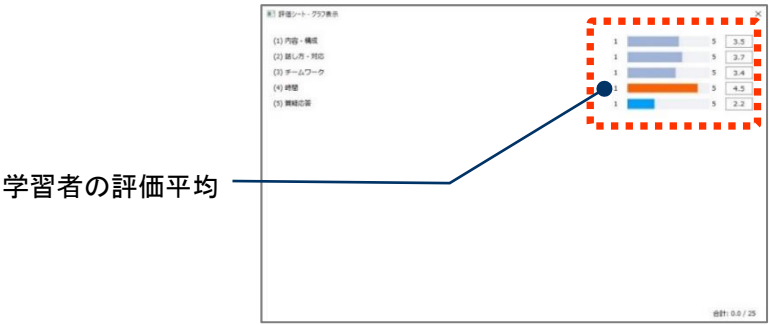
【評価結果_YYYYMMDDhmmss_feedback.csv】

評価対象者へのフィードバック用に、先生の評価・コメント、学習者ごとの評価・コメント(無記名) および 項目ごとの学習者平均が出力されます。評価者が特定されないように、評価者名は出力されず、並び順もランダムになります。



【評価結果_YYYYMMDDhmmss_feedback.jpg】

評価対象者へのフィードバック用に、評価項目ごとの学習者の平均グラフ静止画として出力します。



小テスト概要

設問形式を組み合わせることで問題を作成し、小テストとして一斉に実施します。

結果はその場で自動的に集計、保存されます。作成した小テストは、テスト用紙として印刷することもできます。

設問形式は下記の「単一選択」「複数選択」「入力」「正誤」「エッセイ」の5種類から選択することができます。

小テストを実施すると結果レポートが作成され、集計結果や学習者ごと／問題ごとの解答状況を確認することができます。

テスト名: 確認テスト
クラス: 英語Ⅱ
科目: 英語
先生: 日向
注意事項: 問題文をよく読んで問いに答えなさい。
合計点: 60

【小テスト】

1. Unit4のニュースを見て、次の問いに答えてください。
(配点:12)
How much is the Rembrandt painting worth?

- 1. 14 million dollars
- 2. 40 million dollars
- 3. 140 million dollars
- 4. 1400 million dollars

【単一／複数選択】

2. Mikiと学生のやり取りを見て答えなさい。(正解は1つとは限りません。)
(配点:12)
Mark the phrases used by the first man that Miki asked.

- A. It's pretty far from here.
- B. It's more than a 10-minute walk.
- C. It's behind the library.
- D. Go past the student union.

【入力】

3. During the election campaign, one of the main _____ was education.
(配点:12)

- issue

【正誤】

4. The goddess in the painting is called Minerva.
(配点:12)

- 正
- 誤

【エッセイ】

5. あなたがもしこの絵を手に入れていたら、どうしますか？
(配点:12)

結果レポート

テスト情報

| 日付 | テスト名 | クラス | 科目 | 先生 | 学習者数 |
|------------------|---------------|-----------|----|----------|------|
| 2012/12/11 20:46 | 小テスト1 (12/10) | CHleruクラス | 英語 | CHleru先生 | 8 |

学習者一覧

| 学籍番号 | 学習者名 | 得点 | 正答率 | 偏差値 |
|----------|-----------|----------|--------|-------|
| A0000001 | Aoki | 40 / 100 | 40.00% | 42.71 |
| A0000005 | Endo | 80 / 100 | 80.00% | 66.05 |
| A0000007 | Kaneko | 60 / 100 | 60.00% | 54.38 |
| A0000012 | Koizumi | 60 / 100 | 60.00% | 54.38 |
| A0000018 | Suzuki | 60 / 100 | 60.00% | 54.38 |
| A0000021 | Suzumoto | 20 / 100 | 20.00% | 31.04 |
| A0000033 | Nakayama | 60 / 100 | 60.00% | 54.38 |
| A0000036 | Nishikawa | 40 / 100 | 40.00% | 42.71 |

統計情報

| 平均値 | 中央値 | 最頻値 | 範囲 | 標準偏差 |
|-------|-------|-------|---------------|------|
| 52.50 | 60.00 | 60.00 | 60.00 - 12.70 | |

【学習者小テスト画面】

テスト名: 確認テスト
クラス: 英語Ⅱ
科目: 英語
先生: 日向
注意事項: 問題文をよく読んで問いに答えなさい。
合計点: 60

1. Unit4のニュースを見て、次の問いに答えてください。
(配点:10)
How much is the Rembrandt painting worth?

見直し

- 1. 14 million dollars
- 2. 40 million dollars
- 3. 140 million dollars
- 4. 1400 million dollars

2. Mikiと学生のやり取りを見て答えなさい。(正解は1つとは限りません。)
(配点:10)
Mark the phrases used by the first man that Miki asked.

見直し

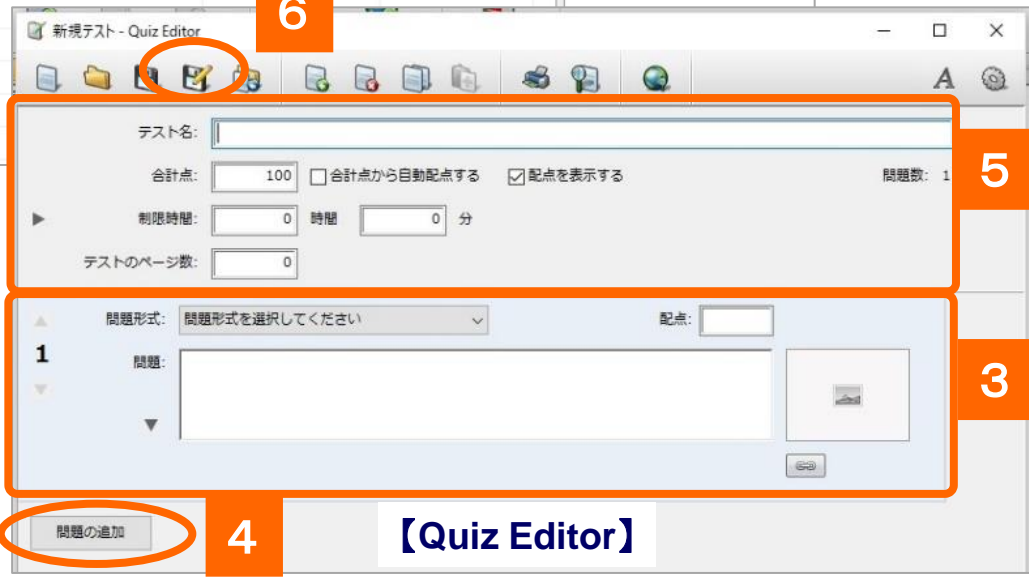
- A. It's pretty far from here.
- B. It's more than a 10-minute walk.
- C. It's behind the library.

CHleru

41

小テスト作成ツール起動・作成

【テストコンソール】

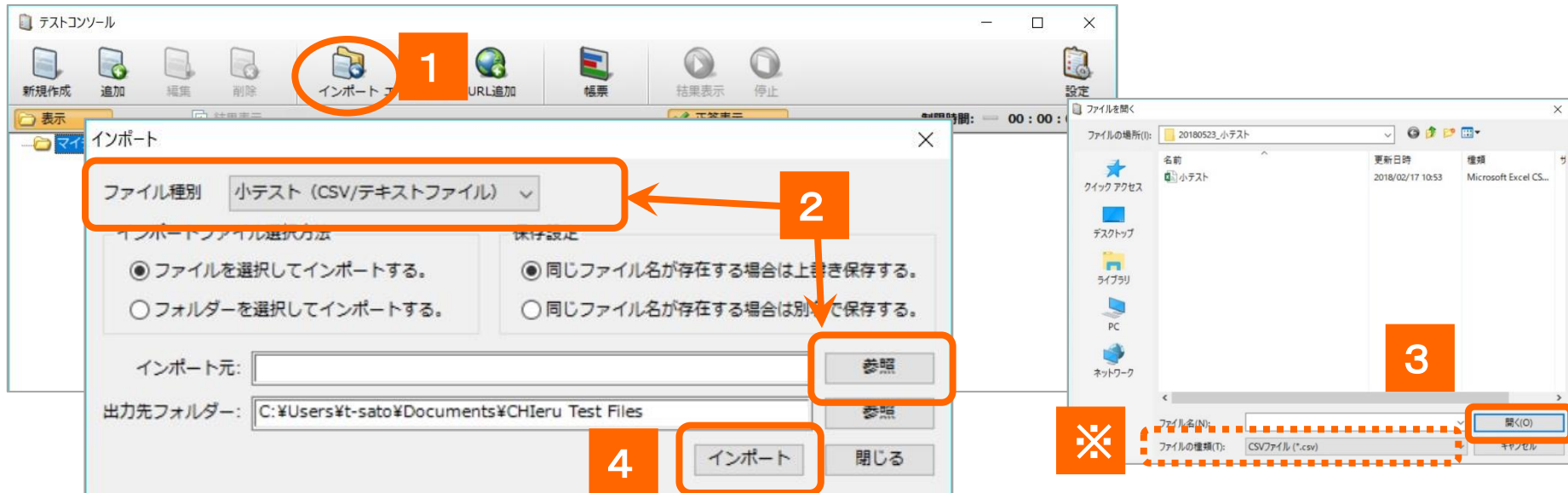


1. [その他の機能]ボタンをクリックし、[小テスト]ボタンをクリック
⇒ テストコンソール画面が表示されます。
2. テストコンソール画面で、[新規作成]ボタンをクリック
⇒ Quiz Editor画面が表示されます
3. 問題形式を選択し、問題や正答を入力
4. 問題を追加する場合には[問題の追加]ボタンをクリック
5. 小テストの「テスト名」、「合計点」、「制限時間」、
「テストのページ数」を入力
6. 作成が終了したら[名前を付けて保存]ボタンをクリック
⇒テストコンソール画面に作成した小テストが追加されます。

☆「テストコンソール」の[エクスポート]ボタンでCSVファイルとして
エクスポート保存し、適宜編集後にインポートすることができます。

| | |
|-------------|---|
| テスト名 | : 小テストのタイトルを指定します |
| 合計点 | : 小テストの合計点を指定します |
| 合計点から自動配点する | : チェックを入れると、問題数により均等に配点します |
| 配点を表示する | : チェックを入れると、小テスト画面の設問に配点を表示します |
| 制限時間 | : 制限時間を時間・分で指定します。「0時間0分」の場合、 [停止]ボタンで終了します。 |
| テストのページ数 | : 複数ページに分けたい場合、ページ数を指定します |

CSVファイルから小テストをインポート



1. テストコンソール画面の[インポート]ボタンをクリック
⇒インポート画面が表示されます。
2. 「ファイル種別」から「小テスト(CSV/テキストファイル)」を選択し、[参照]ボタンをクリック
⇒ファイルを開く画面が表示されます。
3. 作成した小テストインポート用ファイルを選択し[開く]ボタンをクリック
4. [インポート]ボタンをクリック
⇒テストコンソール画面に作成した小テストが追加されます。

小テストを開始する

【テスト設定】

制限時間
既定値 時間 分
+-ボタンの増減 時間 分

番号・学習者名
 テスト開始時に学習者に番号・名前を入力させる
 出席の番号・名前を使用する

テストの表示
 フルスクリーンで表示する
 学習者ごとに問題の順番をシャッフルする
テストのページ数:

採点オプション
 入力問題の大文字、小文字を区別する
 入力問題の前後スペースを区別する

テスト結果の表示
 表示しない
 得点を表示する
 採点結果の詳細を表示する
 学習者に正解を表示する

答案提出後の画面表示
 答案提出後にテスト結果を表示する
 テスト終了後にテスト結果を表示する
 テスト終了まで以下のメッセージを表示する

※ 注意

2

1. テストコンソール画面で[設定]ボタンをクリック
⇒テスト設定画面が表示されます。
2. 設定内容を確認し、[保存]ボタンをクリック
3. 実施したい小テストを選択し、[開始]ボタンをクリック
⇒学習者画面に小テストが表示され、小テストが開始されます。
また、テストコンソール画面のプレビューが結果レポートに切り替わります。

※テスト設定での注意事項

【採点オプション】

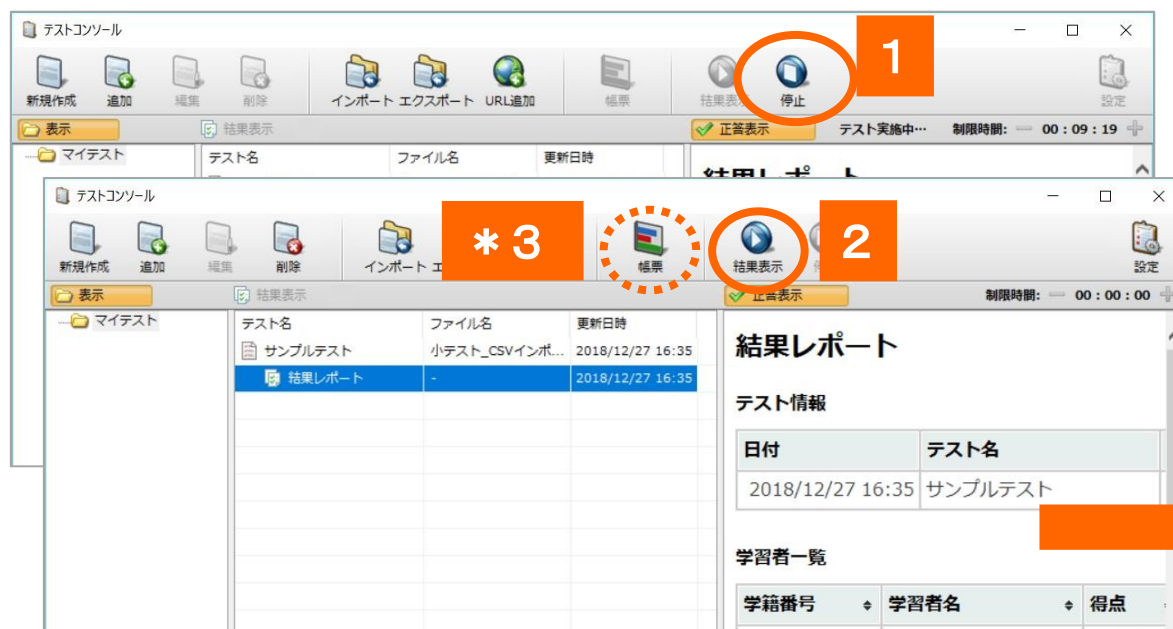
「入力問題の前後スペースを区別する」にチェックが入っている場合、誤って文字列の先頭または末尾にスペースが入っていると不正解になります。

【テスト結果の表示】

小テスト終了後、学習者に表示する内容を選択します。

- ・得点を表示する : 得点のみ表示します
- ・採点結果の詳細を表示する : 設問ごとの正誤、自分の解答を表示します。
「生徒に正解を表示する」にチェックを入れると、設問ごとの正答も表示します。

小テストの結果表示



【結果レポート】

| 学籍番号 | 学習者名 | 得点 | 正答率 | 偏差値 |
|------|--------|----|-----|-------|
| | t-sato | | % | 50.00 |

| 平均値 | 中央値 | 最頻値 | 範囲 | 標準偏差 |
|-------|-------|-------|------|------|
| 30.00 | 30.00 | 30.00 | 0.00 | 0.00 |

| 問題番号 | 問題 | 正答 |
|------|--|----|
| 1 | Unit4のニュースを見て、次の問いに答えてください。How much is the Rembrandt painting worth? | |
| 2 | Miki sees used by the first man that Miki | |
| 3 | During the election campaign, one of the main _____ was education. | |
| 4 | The painting has been in private collections. | |
| 5 | The goddess in the painting is called Minerva. | |
| 6 | あなたがこの絵を手に入れたとしたら、どうしますか？ | |

1. [停止]ボタンをクリック

※答案を提出していない学習者の答案を強制的に回収し、小テストを終了します。

2. [結果表示]ボタンをクリック

⇒学習者画面に個人の「採点結果」画面が表示されます。

※設定で結果表示が有効になっている場合、自動で表示されます。

* 1 結果レポートで「学習者名」をクリックすると、学習者別の採点結果が確認できます。

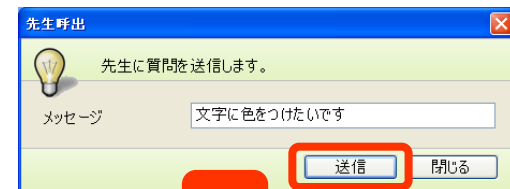
* 2 結果レポートで「問題番号」をクリックすると、問題別採点結果が確認できます。

* 3 結果を印刷したい場合には[帳票]ボタンをクリックしてそれぞれの結果を印刷することができます。

学習者からの質問／呼び出しに応える

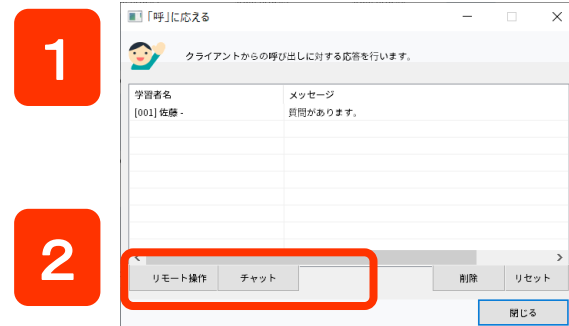
「学習者が質問したいとき」の学習者の操作

1. 学習者メニューの[先生呼出]ボタンをクリック
2. メッセージ入力ボックスに先生への質問を入力し、[送信]ボタンをクリック

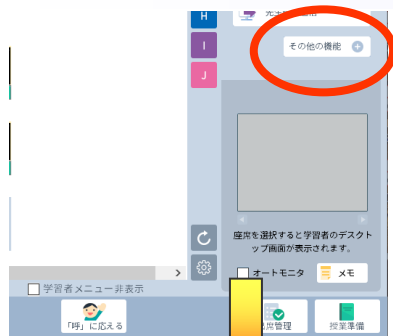


「学習者の呼び出しに応えるとき」の先生の操作

1. 呼び出しがあると[『呼』に応える]ダイアログが表示されます。
2. 学習者の名前とコメントが表示され、応答方法を選択できます。
 学習者画面リモート: 呼び出した学習者のPCをリモート操作します。
 チャット: 呼び出した学習者にチャット(文字のやりと)で応答します。

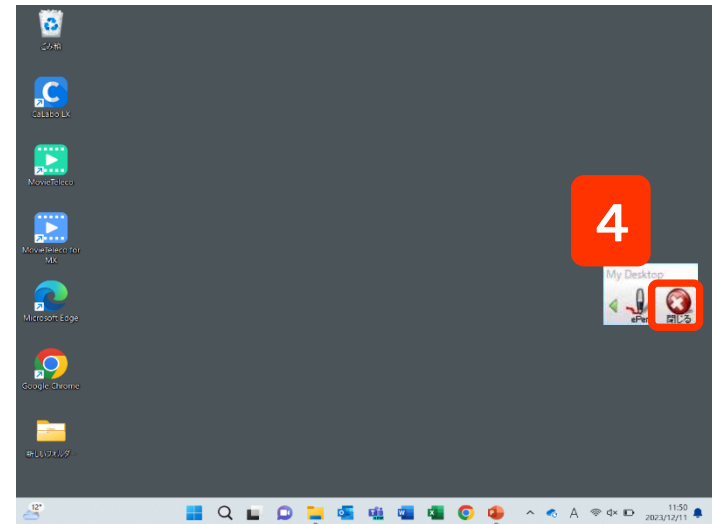
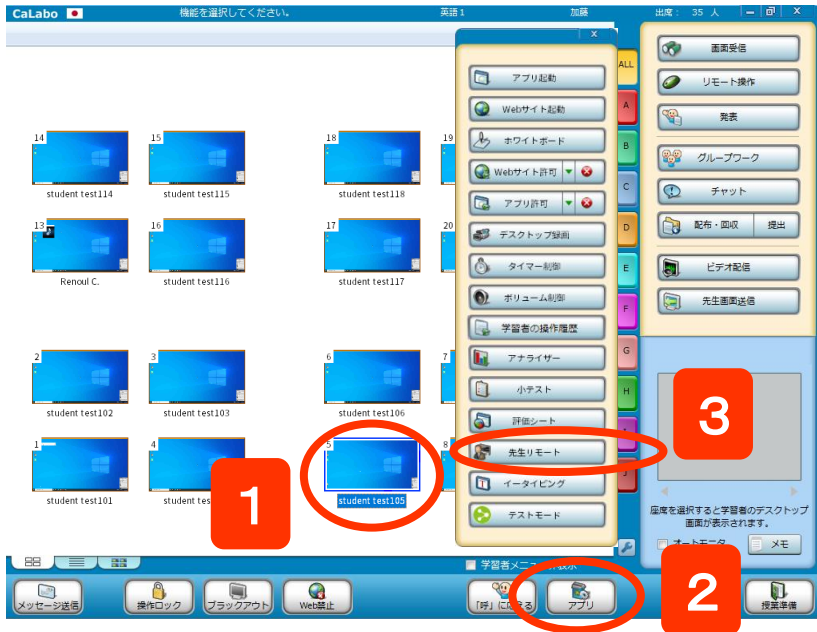


その他の機能



| ボタン名称 | 機能の概要 |
|--------------|--|
| アプリ起動 | 指定したアプリを一斉に起動します |
| Webサイト起動 | 指定したWebサイトを一斉に起動します |
| ホワイトボード | グループでホワイトボードを共有し、皆で描き込めます |
| Webサイト禁止・許可 | Webサイトへのアクセスを制限します |
| アプリ禁止・許可 | アプリの起動を制限します |
| デスクトップ録画 | 先生画面の操作手順を録画し、学習者に渡せます |
| タイマー制御 | 指定した時間経過後、 メッセージ送信や画面ロック／解除します |
| ボリューム制御 | 先生側／学習者側の音量を変更する ※学習者側は一括変更 |
| 学習者の操作履歴 | 学習者のアクティブなプログラムを監視し、 そのログを表示する |
| アナライザー | アナライザーを実施し、その場で結果を表示します |
| 小テスト | テスト用紙形式の小テストを作成し、一斉に実施、 その場で結果を把握できます |
| 評価シート | 学習者に評価シートを配布し、学習者による評価対象 の評価結果をその場で集計します。 |
| テストモード | 「アプリ許可／禁止」と「Webサイト許可／禁止」を組み 合わせて実行し、これらの制限を終了するときに学習 者パソコンをロックしたり、メッセージを送ったりするこ とができます。 |
| イータイピング一斉テスト | タイピングの一斉テスト(CBT)を実施し、 即座にランキング表示します。(オプション機能) |

選択した学生PCから先生PCをリモート操作することができます。



1. 先生リモートをしたい学生PCをクリックして選択
2. [アプリ]ボタンをクリック
⇒ アプリパネルが表示されます。
3. [先生リモート]ボタンをクリック
⇒ 選択した学生PCに先生画面が表示されリモート操作することができます。
4. 終了するには[閉じる]ボタンをクリック

授業外グループワーク: 画面と機能

授業時間外(先生がCaLabo LX コントローラーを起動していないとき)に、学習者が自分たちでグループを組み、グループ内のリーダーの画面を他のメンバーに見せることができます。グループワーク中は常に、グループ内のいずれか1名がリーダー役となります。

※授業中のグループワークと異なり、グループ内でのファイル配布・提出、Web サイト一斉起動、リーダー画面のリモート操作は利用できません。

| 機能 | 内容 |
|---------|--------------------|
| グループ内発表 | リーダーの画面を他のメンバーに見せる |
| リーダー変更 | 次のリーダーを指名して交替する |

リーダーのグループ操作画面

参加者一覧から1名選択し、リーダー交代

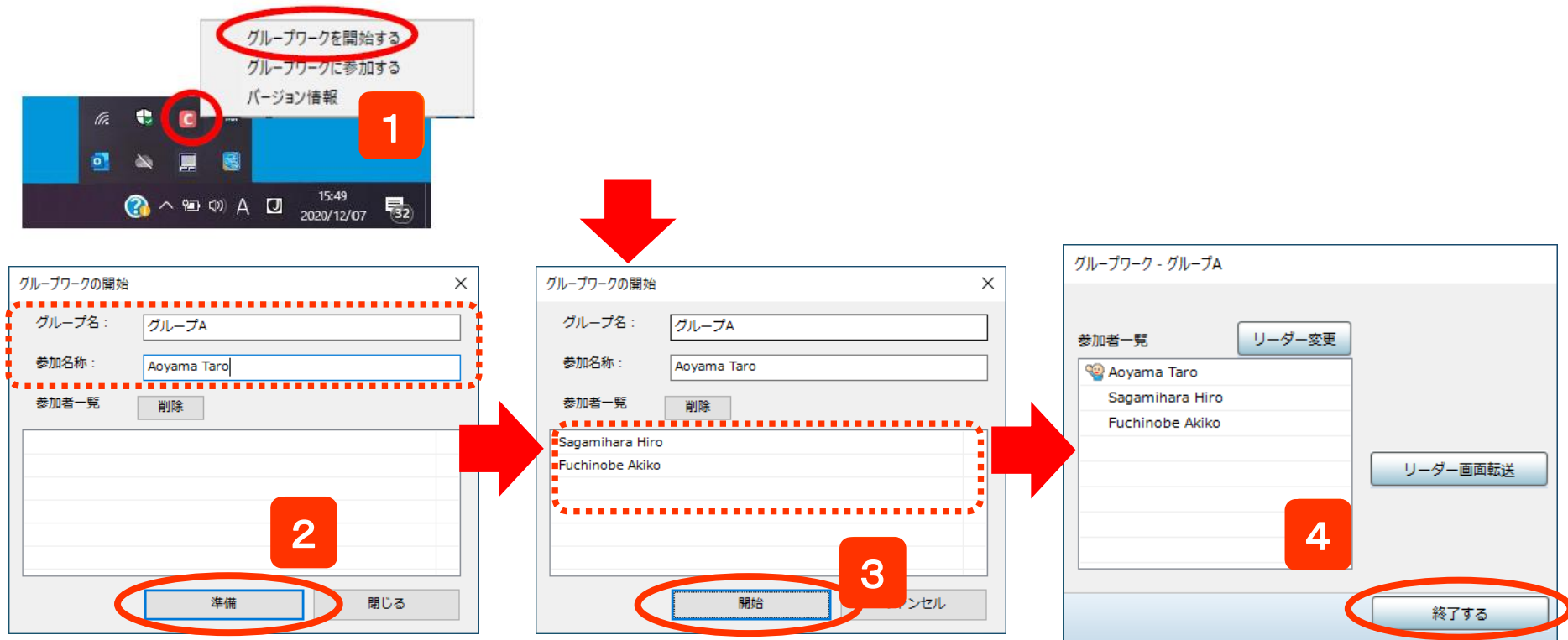
リーダーのPC画面を見せる


グループワーク終了

リーダー以外のグループ画面

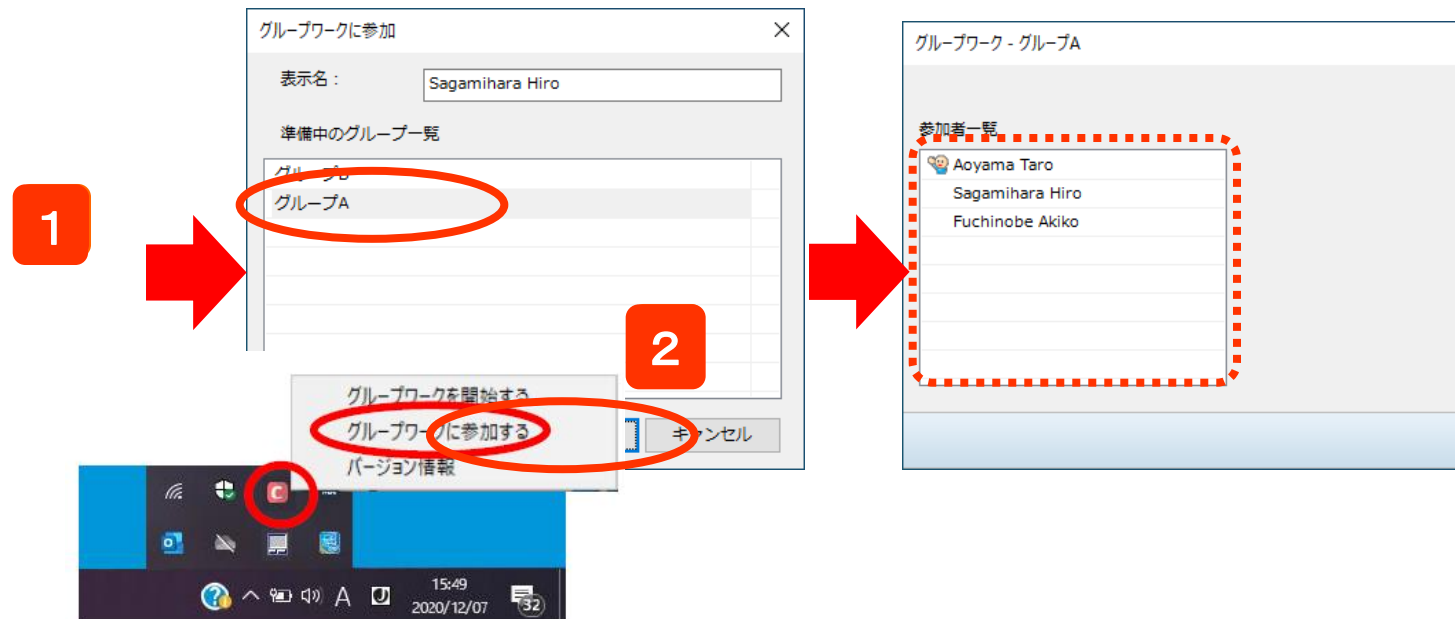
参加者の表示

授業外グループワークの開始 -リーダーの操作-



1. Windows タスクバーの CaLabo LX クライアントアイコン () 上で右クリックし、[グループワークを開始する] を選択します。
2. 「グループワークの開始」画面で「グループ名」「参加名称」を適宜変更し、[準備]ボタンをクリックします。
3. 他の学習者がグループを選択して参加すると参加者一覧にその表示名が表示されます。全員そろったことを確認したら[開始]ボタンをクリックします。
4. 終了する場合は[終了する]ボタンをクリック

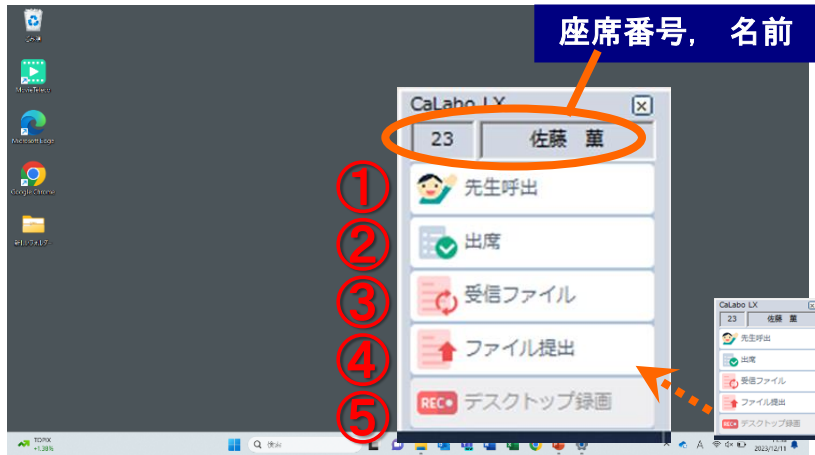
授業外グループワークへの参加



1. Windows タスクバーの CaLabo LX クライアントアイコン (C) 上で右クリックし、[グループワークに参加する]を選択します。
2. 準備中のグループ一覧で参加するグループを選択し、[参加]ボタンをクリックします。
3. リーダーがグループワークを開始すると、グループワーク画面が表示されます。

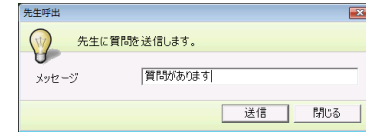
学習者メニュー

先生がCaLabo LXを起動すると、ログインしている学習者PCに「学習者メニュー」が表示されます。



① [先生呼出] (または [Alt] + [F12] キー)

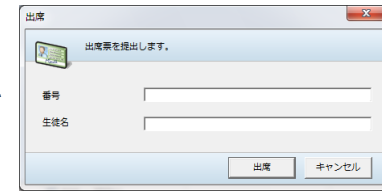
質問があるときなど、先生に知らせることができます。クリックすると「先生呼出」ダイアログが表示されるので、必要であればメッセージを入力し、先生に知らせます。メッセージは入力しなくてもかまいません。



※ [Alt] + [F12] キーを押した場合は、先生呼出ダイアログは表示せず、呼び出していることだけを先生に知らせます。

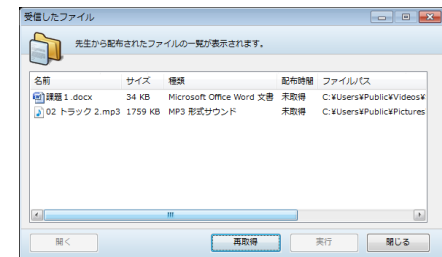
② [出席] (または [Alt] + [F10] キー)

「出席票」を表示します。座席アイコンに「入力した名前」を表示する設定の場合、名前を入力します。



③ [受信ファイル]

先生から配布されたファイルを確認できます。出席する前に先生がファイルを配布していた場合、自動で表示され、[再取得] ボタンをクリックすると取得することができます。



④ [ファイル提出]

「ファイル提出」ダイアログを閉じてしまった場合、クリックして表示させることができます。(先生が提出許可中のみ有効)

⑤ [デスクトップ録画]

先生が「デスクトップ録画」したファイルを配信した場合、再生することができます。(先生は配信した場合のみ有効)

コントロール画面の「学習者メニュー非表示」にチェックを入れると、学習者メニューは表示されなくなります。

